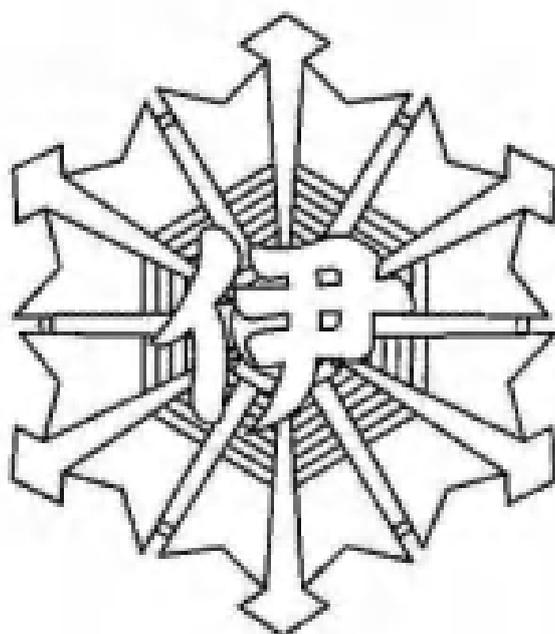


消 防 年 報

平成 22 年版
(平成 23 年 9 月刊行)



伊達地方消防組合消防本部

は し が き

この年報は、伊達地方消防組合の現勢と平成 22 年中における消防諸般の実情を収録したものであります。

この資料を一つの参考として広域消防行政の実態をご理解いただき、より一層のご支援ご協力を賜れば幸いと存じます。

なお、消防統計的なものについては暦年で、その他のものについては会計年度で、また消防状況の逐年傾向を知るため必要なものについては過去にさかのぼり集録したものであります。

平成 23 年 9 月

伊達地方消防組合消防本部

目 次

1	伊達地方消防組合のあゆみ	1
2	伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調	8
3	伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力	8
4	伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調	9
5	総 務	
(1)	伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織	11
(2)	伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌	12
(3)	消防機関所在地	18
(4)	消防庁舎の現状	20
(5)	平成23年度一般会計予算	21
(6)	職員配置状況調	22
(7)	職員階級別勤続年数調	23
(8)	職員階級別年齢調	24
(9)	職員市町村別居住地調	24
(10)	職員研修状況調	25
(11)	職員特殊技能その他資格取得者調	26
6	予 防	
	火災統計	
	平成22年火災概要	28
(1)	火災総括表	29
(2)	火災概況及び比較表	30
(3)	市町別・月別火災発生状況	31
(4)	火災件数と損害額	32
(5)	火災種別発生率	33
(6)	市町別火災発生率	33
(7)	時間別火災発生状況	34
(8)	覚知方法別出火件数	34
(9)	出火率の推移	35
(10)	火災による死傷者の推移	35
(11)	過去5年間に於ける各市町火災発生状況	36
(12)	原因別火災発生状況	37
(13)	気象別出火件数調(湿度)	38
(14)	気象別出火件数調(風速)	38
(15)	曜日別出火件数調	39

(16) 気象別出火件数調(天候).....	39
(17) 全国及び福島県の火災記録(10年間).....	40
危険物統計	
(1) 市町別危険物製造所等.....	42
(2) 倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設).....	43
(3) 容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設).....	43
予防統計	
(1) 市町別・工事種別同意処理状況.....	45
(2) 市町別・月別同意処理状況.....	45
(3) 市町別・用途別建築同意処理状況.....	46
(4) 防火対象物施設数.....	47
(5) 防火対象物の階層別・面積別調.....	48
(6) 甲種防火対象物防火管理者選任届出状況.....	49
(7) 乙種防火対象物防火管理者選任届出状況.....	50
(8) 防火対象物立入検査実施状況.....	51
(9) 消防用設備等の届出、検査済証件数.....	52
(10) 甲種防火管理(新規)講習会実施状況.....	52
(11) 火災予防条例等に基づく届出状況.....	53
7 警 防	
(1) 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図.....	55
(2) 消防本部(中央消防署)から分署・各町間の距離.....	56
(3) 相互応援協定.....	57
(4) 現勢消防力調.....	58
(5) 消防水利現況調.....	58
(6) 消防車両等の現勢調.....	59
(7) 無線局配置状況調.....	61
(8) 消防機器材の現有状況.....	62
8 救助統計	
(1) 事故種別出場件数活動件数調.....	66
(2) 事故種別車両別救出者搬送人員調.....	66
(3) 事故種別出場人員活動人員調.....	67
(4) 事故種別出場車両及び活動車両等台数調.....	68
(5) 事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調.....	69
(6) 事故種別発生場所別救助人員調.....	70
9 救急統計	
平成22年救急活動の概要	72

(1) 市町別・月別救急出場状況.....	73
(2) 市町別・事故種別救急出場状況.....	74
(3) 事故種別救急出場状況(前年比較).....	75
(4) 搬送人員傷病程度別分類状況.....	76
(5) 搬送人員年齢別比率.....	76
(6) 市町別救急出場状況(前年比較).....	77
(7) 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調.....	78
(8) 医療機関別搬送状況.....	79
(9) 一日の出場件数比率.....	80
(10) 事故種別救急出場件数比率.....	80
(11) 月別出場件数(前年比較).....	81
(12) 事故種別・時間別救急出場状況.....	82
(13) 性別・年齢別搬送人員状況.....	83
(14) 過去5年間の事故種別救急出場状況.....	84
(15) 現場到着所要時間別出場件数調.....	85
(16) 収容時間別搬送人員数調.....	85
(17) 過去10年の救急出場件数.....	86
(18) 各市町別の救急出場率及び搬送割合の推移.....	87
(19) 署・分署別救急出場状況(前年比較).....	88
(20) 救急隊が、人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調.....	89

伊達地方消防組合のあゆみ

- 昭和 36.11. 1 保原町に常備消防部新設、部員 5 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 37. 4. 1 保原町常備消防部 部員 1 名増員、総員 6 名となる。
- 昭和 38.10.25 保原町常備消防部に小型動力ポンプ(B3級)1 台配置される。
- 昭和 41. 6. 1 常備消防協議会方式による桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部を桑折町字堰下 1 番地内に新設、部員 7 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 42. 4.12 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部に日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 1 台寄贈される。
- 昭和 44. 4. 1 保原町常備消防部 部員 2 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 44.10. 1 梁川町に役場職員併任による常備消防部新設、部員 24 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 44.11. 1 川俣町に常備消防部新設、部員 9 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 45. 2. 1 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部 部員 1 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 45. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 11 名となる。
- 昭和 46. 1.14 川俣町常備消防部に日本自動車工業会より救急車 1 台寄贈される。
- 昭和 46. 2. 消防に関する事務を共同処理するため、伊達地方消防組合の設立について、桑折町、伊達町、国見町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町の各町議会においてそれぞれ議決される。
- 昭和 46. 3. 9 福島県知事へ伊達地方消防組合設立の許可申請をする。
- 昭和 46. 4. 1 福島県指令地第 572 号をもって設立が許可され伊達地方消防組合が発足する。
- 昭和 46. 4. 1 川俣町常備消防部救急業務開始に伴い部員 2 名増員、総員 13 名となる。
- 昭和 46. 5. 1 伊達地方消防組合に消防本部を設置する。
県より職員 1 名の派遣を受ける。
- 昭和 46. 9. 1 消防職員 1 名採用、総員 2 名となる。
- 昭和 46.10. 1 消防職員採用試験を実施する。
- 昭和 46.10.11 消防職員 13 名採用、総員 15 名となる。
- 昭和 46.10.21 消防本部、中央消防署及び東分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 46.12.24 消防本部に司令車 1 台配置する。
- 昭和 47. 1. 7 消防職員 20 名採用、総員 35 名となる。
- 昭和 47. 2. 1 消防職員 1 名採用、総員 36 名となる。
- 昭和 47. 3.27 消防本部、中央消防署庁舎(鉄筋コンクリート一部 3 階建 973.73 m²、建設事業費 55,870 千円)を保原町大字大泉字大地内 93 番地内に新築、また東分署庁舎(鉄筋コンクリート 2 階建 377.71 m²、建設事業費 20,050 千円)を霊山町大字下小国字畑尻 45 番地内に新築する。
- 昭和 47. 3.28 日本損害保険協会より救急車(3B型)1 台寄贈される。
- 昭和 47. 4. 1 伊達地方消防組合に中央消防署を設置し、署に東分署、西分署及び北分署を設置する。
中央消防署に消防ポンプ自動車 1 台及び救急車(3B型)1 台配置、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各 1 台配置し、消防救急業務を開始する。
保原町より職員 1 名、霊山町より職員 1 名の派遣を受ける。
桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備部より職員 8 名、梁川町常備部より職員 1 名及び保原町常備部より職員 7 名採用、総員 54 名となる。
- 昭和 47. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 15 名となる。
- 昭和 47. 5. 1 消防職員 30 名採用、総員 84 名となる。

- 昭和 47. 7.15 日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈され西分署に配置する。
- 昭和 47. 8.28 西分署及び北分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 48. 1.20 中央消防署、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置する。
中央消防署及び東分署に広報連絡車各1台配置する。
東分署及び北分署に可搬式小型動力ポンプ1台配置する。
- 昭和 48. 1.30 西分署及び北分署に広報連絡車各1台配置する。
- 昭和 48. 3.27 西分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 570.92 m²、建設事業費 31,700 千円)を桑折町大字上郡字楽5番地内に新築、また北分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 382.97 m²、建設事業費 23,910 千円)を梁川町字東塩野川 63 番地内に新築する。
- 昭和 48. 3.31 派遣職員1名霊山町に復帰、総員 83 名となる。
- 昭和 48. 4. 1 川俣町及び飯野町が伊達地方消防組合に加入する。
中央消防署に南分署を設置し、消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型)1台をもって消防救急業務を開始する。
川俣町より職員1名の派遣を受ける。
川俣町常備消防部より職員 14 名、消防職員 8 名採用、総員 106 名となる。
- 昭和 48. 5.20 南分署に広報連絡車1台配置する。
- 昭和 48. 6. 1 消防職員1名採用、1名退職、総員 106 名となる。
- 昭和 48.10.30 東分署及び北分署に救急車各1台配置する。
- 昭和 48.11.29 日本自動車工業会より救急車(2B型)1台寄贈され南分署に配置する。
- 昭和 49. 3.13 南分署に消防ポンプ自動車及び可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 49. 3.15 中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車(水槽 1,900、発動発電投光器、三連はしご装備)1台配置する。
- 昭和 49. 3.28 西分署に化学消防ポンプ自動車(薬液槽 500、水槽 1,800、低発泡及び高発泡発生放射装置、自動噴霧装置、三連はしご装備)1台配置する。
- 昭和 49. 4. 1 派遣職員1名県に復帰、月舘町より職員1名の派遣を受ける。
消防職員 10 名採用、総員 116 名となる。
- 昭和 49.11. 1 南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に返還する。
- 昭和 50. 1.17 南分署に消防ポンプ自動車1台配置する。
- 昭和 50. 2.13 中央消防署に救助工作車1台配置する。
- 昭和 50. 4. 1 東北高速自動車道、郡山～白石間の開通に伴い、救急業務を開始する。
消防職員 5 名採用、総員 121 名となる。
- 昭和 50. 6.30 派遣職員1名川俣町に復帰、総員 120 名となる。
- 昭和 50. 8. 1 消防職員1名退職、総員 119 名となる。
- 昭和 50.11. 1 消防本部配置の司令車1台更新する。
- 昭和 51. 3. 4 西分署に救急車(2B型)1台配置する。
- 昭和 51. 6.30 派遣職員1名月舘町に復帰、総員 118 名となる。
- 昭和 51.10. 1 消防本部に予防査察車1台配置する。
- 昭和 52. 1.14 南分署配置の救急車(2B型)1台更新する。
中央消防署及び西分署に可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 52. 3.31 消防職員1名退職、総員 117 名となる。
- 昭和 52. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 126 名となる。
- 昭和 52.10.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 昭和 53. 2.28 消防職員1名退職、総員 125 名となる。

- 昭和 53. 4.20 消防職員 1 名退職、総員 124 名となる。
- 昭和 54. 1.27 西分署及び北分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 昭和 54. 1.31 中央消防署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 54. 2. 3 北分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54. 3. 5 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 54. 4. 1 消防職員 10 名採用、1 名退職、総員 133 名となる。
- 昭和54年.10.26 中央消防署訓練場用地 2,911 m²を取得拡張整備する。
- 昭和 54.10.30 南分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
西分署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 54.12. 7 中央消防署及び西分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
東分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54.12.13 中央消防署配置の消防ポンプ自動車を伊達町に、東分署配置の消防ポンプ自動車を霊山町に、西分署配置の消防ポンプ自動車を国見町にそれぞれ譲渡する。
- 昭和 54.12.14 南分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を飯野町に譲渡する。
- 昭和 55. 7.28 訓練塔本体新築工事請負契約を締結する。
- 昭和 55.10. 1 南分署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 55.12.18 東分署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 55.12.27 東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を月舘町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.16 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.25 高所訓練塔(鉄筋コンクリート 5 階建 245 m²)耐熱耐炎訓練塔兼補助塔(鉄筋コンクリート 2 階建 495.5 m²)建築事業費 86,400 千円で新築する。
- 昭和 56. 3.31 県消防学校へ 1 名派遣、1 名退職、総員 132 名となる。
- 昭和 56. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 56. 6.20 消防職員 1 名退職、総員 130 名となる。
- 昭和 56. 7. 7 第 4 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 昭和 56. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 56.11. 3 消防職員 1 名採用、総員 130 名となる。
- 昭和 56.11.16 東分署及び北分署配置の救急車各 1 台更新する。
- 昭和 56.12.24 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 昭和 57. 1.18 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台を保原町に譲渡する。
- 昭和 57. 3.15 中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24M 級)1 台配置する。
- 昭和 57. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署に配置する。
- 昭和 57. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 57. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 132 名となる。
- 昭和 57. 4.21 消防職員 1 名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 57. 9.30 消防本部配置の司令車、査察車各 1 台更新する。
- 昭和 58. 1.31 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 58. 2.26 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 58. 3.10 南分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を川俣町に譲渡する。
- 昭和 58. 3.11 西分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を桑折町に譲渡する。

- 昭和 58. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 139 名となる。
- 昭和 58. 5.30 消防本部に事務連絡車 1 台配置する。
- 昭和 58.11.21 中央消防署配置の救急車(予備車)1 台更新する。
- 昭和 59. 2. 2 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車並びに西分署配置の化学消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 59. 2.24 中央消防署配置の救急車(予備車)更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 59. 2.25 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を梁川町に、西分署配置の化学消防ポンプ自動車を川俣町に譲渡する。
- 昭和 59. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 昭和 59. 9.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 昭和 59.11.10 中央消防署厚生室、仮眠室(72 m²)を増築する。
- 昭和 60. 3. 6 伊達地方消防組合並びに川俣町消防団が自治省消防長官より表彰(竿頭授与)される。
- 昭和 60. 4. 1 伊達地方消防組合消防本部の組織に関する規則の一部を改正、消防課を警防課、予防課の 2 課に改組する。
- 昭和 60. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。
- 昭和 60. 6.22 消防本部配置の査察車 1 台更新する。
- 昭和 60. 8.20 消防本部配置の査察車更新に伴い旧車両を照明車に改造、中央消防署に配置する。
- 昭和 60.11.19 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 昭和 61. 2.24 東分署、南分署及び北分署配置の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、中央消防署配置の救急車を更新する。
- 昭和 61. 3.31 中央消防署配置の救急車更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 61. 4.12 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 昭和 61. 6.10 消防本部配置の水防用人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 昭和 61. 7. 9 中央消防署及び西分署の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 7.10 車庫兼資材庫(鉄骨ブロック造 60 m²)を新築する。
- 昭和 62. 5.15 伊達地方消防組合消防本部並びに梁川町消防団が 8.5 水害救援救助活動によって福島県知事より表彰(竿頭授与)される。
- 昭和 62. 6. 8 中央消防署に消防用トラック(2t)1 台配置する。
- 昭和 62. 8.31 日本消防協会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署配置の救急車を更新する。
- 昭和 62.12. 1 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 62.12.28 南分署庁舎炊事室(9.5 m²)を増築する。
- 昭和 63. 1.25 消防本部配置の旧水防用人員資器材搬送車 1 台廃車する。
- 昭和 63. 4. 1 消防職員 2 名採用、総員 144 名となる。
- 昭和 63. 8. 1 西分署及び南分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 平成 元. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 143 名となる。
- 平成 元. 4. 3 消防職員 1 名採用、総員 144 名となる。
- 平成 元.6.29 第 12 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 平成 元.12.15 北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 2. 1.31 南分署配置の救急車 1 台更新する。

- 平成 2. 4. 1 4週6休制実施(3部制試行)する。
- 平成 2.10.15 東分署及び北分署配置の救急自動車各1台更新する。
- 平成 3. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。
- 平成 3.12.18 西分署配置の救急車1台更新する。
- 平成 4. 1.16 水槽付消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 平成 4. 2. 7 北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 4. 3.31 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 平成 4. 4. 1 消防職員3名採用、総員145名となる。
- 平成 4.10.26 消防職員1名退職、総員144名となる。
- 平成 4.12. 2 消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
- 平成 5. 1.29 東分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 5. 2.14 完全週休2日制を実施する。
- 平成 5. 3.26 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1台寄贈され、中央消防署配置の救急車(予備車)を更新する。
- 平成 5. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。
- 平成 5. 9.30 財団法人日本防火協会より防火広報車1台寄贈される。
- 平成 5.10.31 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 平成 6. 3.10 中央消防署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 平成 6. 3.31 消防職員1名退職、総員141名となる。
- 平成 6. 4. 1 福島県消防学校に職員1名を平成8年3月31日までの期間派遣する。
- 平成 6. 6.30 消防職員1名退職、総員140名となる。
- 平成 6. 9.13 消防本部配置の司令車1台を更新し、旧車両を連絡車として消防本部に配置する。
- 平成 6. 9.30 消防本部配置の事務連絡車1台廃車する。
- 平成 7. 1.24 東分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 7. 3.31 消防職員1名退職、総員139名となる。
- 平成 7. 6.30 消防職員1名退職、総員138名となる。
- 平成 7. 7. 9 水槽付消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
- 平成 7. 9.13 消防本部配置の連絡車1台廃車する。
- 平成 7. 9.26 南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 8. 4. 1 消防職員3名採用、総員141名となる。
- 平成 8. 9.20 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 平成 8.10.14 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 平成 8.10.25 消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 平成 8.12.25 消防本部に事務連絡車1台配置する。
- 平成 9. 3.31 消防職員1名退職、総員140名となる。
- 平成 9. 6.23 消防本部配置の査察車1台更新する。
- 平成 9.12.18 中央消防署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 10. 4. 1 高度救急業務を開始する。
消防職員3名採用、総員143名となる。
福島県消防防災航空隊に職員1名を平成13年3月31日までの期間派遣する。
- 平成 10.10.28 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。

- 平成 10.11.13 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 平成 11. 3. 8 西分署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 11. 3.30 福島総合警備保障株式会社より広報連絡車(トヨタカルディナバン 1500cc)1 台寄贈され南分署配置の広報連絡車を更新する。
- 平成 11. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 11.11.29 西分署配置の化学消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 12. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 141 名となる。
- 平成 12. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 145 名となる。
- 平成 12. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 12.11.28 南分署配置の救急自動車 1 台更新する。
- 平成 12.12. 8 西分署配置の高規格救急自動車 1 台を南分署に、南分署配置の救急自動車 1 台を西分署にそれぞれ配置替えする。
- 平成 13. 1.10 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 平成 13. 3.31 消防職員 4 名退職、総員 140 名となる。
- 平成 13. 7.31 消防職員 1 名退職、総員 139 名となる。
- 平成 13.11.12 西分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 13.11.14 東分署及び北分署配置の救急自動車各 1 台更新する。
- 平成 14. 2. 6 消防本部配置の人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 平成 14. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 平成 14. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 16 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 15. 2.26 北分署庁舎(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建 560.57 m²、建設事業費 209,837 千円)を梁川町希望ヶ丘 97 番地の 1 に新築移転する。
- 平成 15. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 146 名となる。
- 平成 15. 6.30 全国共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され西分署配置の救急車 1 台更新する。
- 平成 16. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 16. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 147 名となる。
福島県消防学校に職員 1 名を平成 18 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 16.10.23 新潟県中越地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 5 名派遣する。
- 平成 17. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 145 名となる。
- 平成 17. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 149 名となる。
- 平成 17.11. 4 中央消防署に指揮兼照明車 1 台配置する。
北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 18. 1. 1 伊達町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町が合併し、伊達市となり、1 市 4 町で構成する消防組合となる。
- 平成 18. 3.31 消防職員 3 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 18. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 150 名となる。
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 20 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 18. 4.10 平成 18 年 1 月 1 日伊達市設置に伴い、福島県知事へ伊達地方消防組規約変更の許可申請をする。
- 平成 18. 5. 1 福島県指令北振第 69 号をもって規約変更が許可される。
- 平成 19. 3.31 消防職員 6 名退職、総員 144 名となる。

- 平成 19. 4. 1 消防職員7名採用、総員 151 名となる。
- 平成 19. 9. 5 消防本部配置の防火広報車1台更新する。
- 平成 19.12.22 中央消防署配置の救急自動車(予備車)1台を高規格救急自動車に更新し、南分署に配置、南分署配置の救急自動車を中央消防署(予備車)に配置替える。
- 平成 20. 3.27 地方自治法の一部を改正する法律の施行により、収入役制度が会計管理者制度となったこと並びに平成 20 年 7 月 1 日をもって飯野町が福島市に編入合併となることに伴い、福島県知事へ伊達地方消防組規約変更の許可申請をする。
- 平成 20. 3.31 福島県指令北振第 7028 号をもって規約変更が許可される。
消防職員 7 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 20. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 152 名となる。
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 22 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 20. 5.14 東分署訓練場等拡張用地 957 m²を取得する。
- 平成 20. 6.14 岩手・宮城内陸地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
- 平成 20. 7. 1 飯野町が福島市に編入合併したことに伴い、1 市 3 町の消防組合となる。
福島市より旧伊達郡飯野町の区域における消防事務(消防団に関する事務並びに水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く。)の委託を受ける。
- 平成 20. 7.24 岩手県沿岸北部地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
- 平成 20.10.31 東分署訓練場等敷地を拡張造成する。
- 平成 21. 2.20 財団法人日本消防協会より指揮広報車(スバルレガシー2000cc)1 台寄贈される。
- 平成 21. 3.12 財団法人日本消防協会寄贈の指揮広報車 1 台を消防本部に配置する。
東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1 台更新する。
- 平成 21. 3.31 消防職員 10 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 21. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 151 名となる。
- 平成 21. 12.22 中央消防署配置の高規格救急自動車 1 台及び資機材搬送車 1 台それぞれ更新する。
- 平成 22. 2. 8 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 22. 3.31 消防職員 8 名退職、総員 143 名となる。
- 平成 22. 4. 1 消防職員 10 名採用、総員 153 名となる。
福島県消防学校に職員1名を平成 24 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 22.10. 1 家庭救命士制度創設。普通救命講習3回以上受講者に対し交付開始する。
- 平成 23. 3.11 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生、全職員体制で災害に対応する。大震災に伴い、東京電力福島第一原子力発電所で事故発生、放射能漏えいが起こる。福島県広域消防相互応援協定に基づき、浜通りで応援活動を行う。
- 平成 23. 3.14 中央消防署配置のはしご付消防自動車 1 台更新する。
- 平成 23. 3.31 消防職員 7 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 23. 4. 1 消防職員 7 名採用、総員 153 名となる。

伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調

(平成23年4月1日現在)

市町別	区分	面積 km ²	世帯数	人口		
				計	男	女
伊達市		265.10	20,838	65,545	31,723	33,822
桑折町		42.97	4,072	12,751	6,013	6,738
国見町		37.90	3,198	10,023	4,811	5,212
川俣町		127.66	5,173	15,427	7,522	7,905
計		473.63	33,281	103,746	50,069	53,677
福島市飯野町 (事務受託区域)		21.31	1,846	5,980	2,922	3,058
合計		494.94	35,127	109,726	52,991	56,735

平成20年7月1日伊達郡飯野町が福島市に編入合併となったことに伴い、福島市より同区域における常備消防事務の委託を受ける。

伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力

(平成23年4月1日現在)

市町別	区分	管轄署(分署)	消防吏員1人当り		消防団員1人当り		消防ポンプ1台当り		
			人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	面積km ²
伊達市保原町		消防本部・中央消防署	726.7	232.6	46.9	14.9	550.8	175.1	2.2
伊達市梁川町	中央消防署北分署								
伊達市霊山町	中央消防署東分署								
伊達市月舘町									
伊達市 (旧伊達町)	中央消防署西分署								
桑折町									
国見町									
川俣町	中央消防署南分署								
福島市飯野町 (事務受託区域)									
1市3町及び事務受託区域1	1本部・1署・4分署	726.7	232.6	41.3	13.3	496.4	159.2	2.3	

消防ポンプは団ポンプ、可搬ポンプも含む。

伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調

管 理 者 等

(平成23年9月1日現在)

職 名	氏 名	現 職 名	備 考
管 理 者	仁 志 田 昇 司	伊 達 市 長	
副 管 理 者	高 橋 宣 博	桑 折 町 長	
〃	佐 藤 力	国 見 町 長	
〃	古 川 道 郎	川 俣 町 長	
会 計 管 理 者	大 河 内 伸 二	伊 達 市 会 計 管 理 者	

組 合 議 員

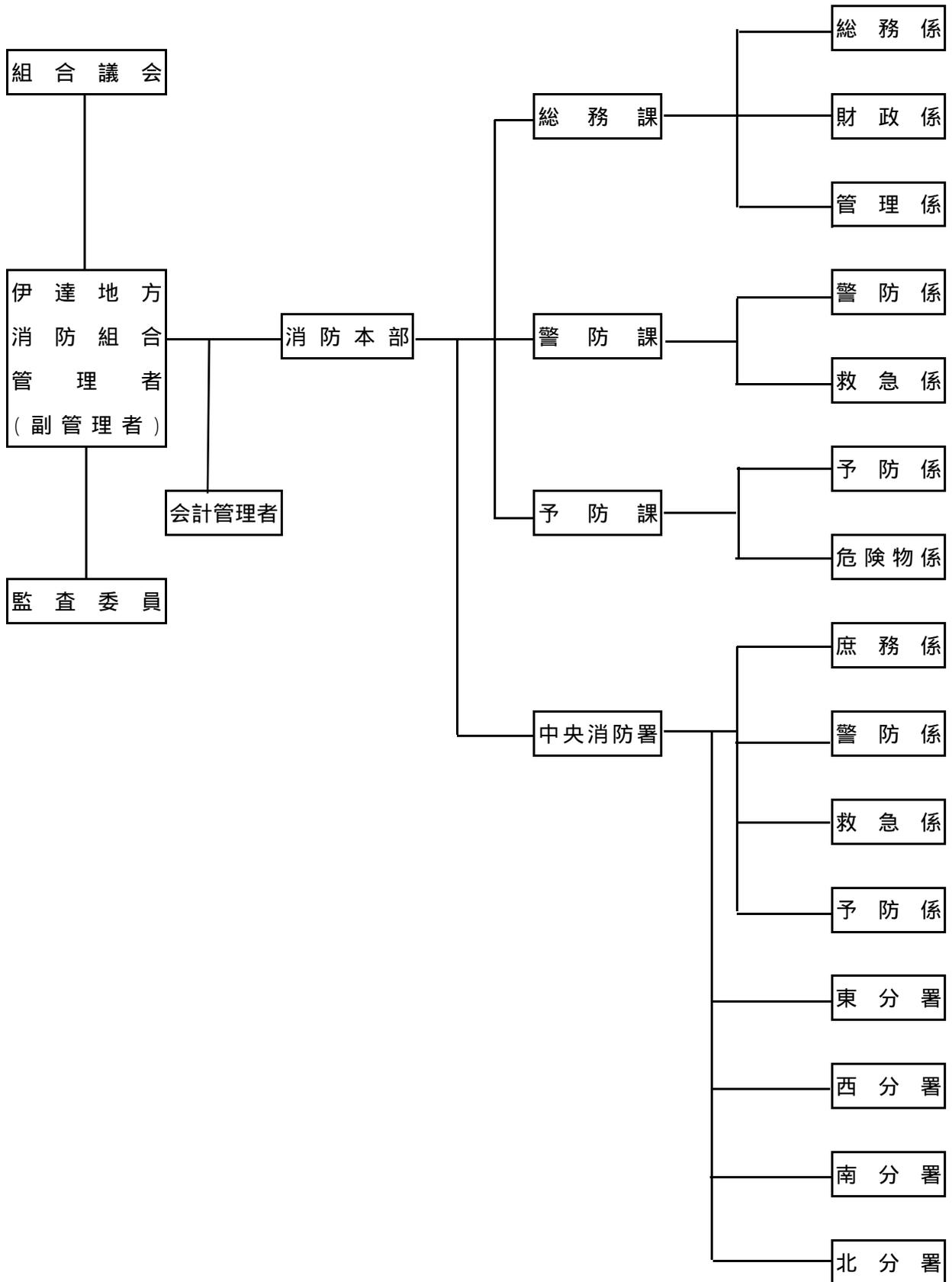
議 長	佐 藤 実	伊 達 市 議 会 議 員	
副 議 長	黒 沢 敏 雄	川 俣 町 議 会 議 員	
議 員	片 平 秀 雄	桑 折 町 議 会 議 員	
〃	松 山 善 二	〃 議 会 議 員	
〃	渡 辺 勝 弘	国 見 町 議 会 議 員	
〃	浅 野 富 男	〃 議 会 議 員	
〃	菅 野 喜 明	伊 達 市 議 会 議 員	
〃	菊 地 邦 夫	〃 議 会 議 員	
〃	佐 々 木 彰	〃 議 会 議 員	
〃	佐 藤 勲	〃 議 会 議 員	
〃	中 村 正 明	〃 議 会 議 員	
〃	半 澤 隆	〃 議 会 議 員	
〃	菅 野 清 一	川 俣 町 議 会 議 員	

監 査 委 員

委 員	大 橋 彰		識 見 者
〃	浅 野 富 男		議 会 選 出

総務

伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織



伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌

消防本部事務分掌

総 務 課

- 1 組織及び総合企画、調整に関する事。
- 2 職員の任免、分限、懲戒、服務その他身分に関する事。
- 3 職員の給与その他勤務条件に関する事。
- 4 条例、規則及び規程等に関する事。
- 5 公印の管理に関する事。
- 6 叙位、叙勲及び表彰に関する事。
- 7 文書の收受、発送、編集及び保存に関する事。
- 8 職員の教養及び研修に関する事。
- 9 財務に関する事。
- 10 職員の服制に関する事。
- 11 職員の給貸与品に関する事。
- 12 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- 13 職員の公務災害等補償に関する事。
- 14 職員の共済事務等に関する事。
- 15 消防の広報及び消防統計に関する事。
- 16 消防長会に関する事。
- 17 消防施設の維持管理及び営繕に関する事。
- 18 伊達地方消防組合事務に関する事。
- 19 その他特命事項に関する事。
- 20 その他、他の主管に属さない事項に関する事。

警 防 課

- 1 火災その他災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 2 消防計画及び訓練に関する事。
- 3 消防対策の企画立案及び総合調整に関する事。
- 4 消防通信に関する事。
- 5 消防の地理、水利に関する事。
- 6 消防車両の整備に関する事。
- 7 各種消防装備資器材等の整備、管理に関する事。
- 8 消防装備資器材の取り扱い及び技術開発研究に関する事。
- 9 警防隊の総合運用に関する事。
- 10 職員の教養訓練に関する事。
- 11 救急業務に関する事。
- 12 防災及び救急医療機関との連絡調整に関する事。
- 13 救助業務に関する事。
- 14 特命救助隊に関する事。
- 15 消防相互応援に関する事。
- 16 警防、救急、救助統計及び消防情報に関する事。
- 17 救急隊及び救助隊の運用に関する事。
- 18 救急知識の普及向上に関する事。
- 19 災害防除及び救助技術の研究、指導、訓練に関する事。
- 20 職員の安全管理に関する事。
- 21 救急及び救助用装備資器材の整備、管理に関する事。
- 22 災害の受付及び出場指令に関する事。
- 23 災害通信の運用及び通信統制に関する事。
- 24 救急搬送証明に関する事。
- 25 防災会議及び災害対策本部に関する事。
- 26 消防団との連絡協調に関する事。
- 27 消防協会伊達支部に関する事。
- 28 その他特命事項に関する事。

29 その他、他の主管に属さない警防事務に関する事。

予 防 課

- 1 火災予防対策の企画及び総合調整に関する事。
- 2 防火思想の普及向上に関する事。
- 3 予防査察に関する事。
- 4 建築物の許可、認可又は確認同意に関する事。
- 5 火災気象通報の伝達及び火災警報の発令等に関する事。
- 6 火災原因、損害の調査並びに火災報告に関する事。
- 7 予防統計及び予防情報に関する事。
- 8 予防広報及び広聴に関する事。
- 9 危険物の規制及び保安に関する事。
- 10 液化石油ガス販売施設の意見書に関する事。
- 11 火災予防条例に関する事。
- 12 防火管理に関する事。
- 13 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
- 14 火災証明に関する事。
- 15 報道関係機関との連絡に関する事。
- 16 自主防災組織の育成、指導に関する事。
- 17 危険物安全協会に関する事。
- 18 消防設備士協会に関する事。
- 19 予防用資器材の整備及び管理に関する事。
- 20 その他特命事項に関する事。
- 21 その他、他の主管に属さない予防事務に関する事。

中央消防署事務分掌

庶務係

- 1 公印の管理に関する事。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関する事。
- 3 職員の服務に関する事。
- 4 職員の給与の支給に関する事。
- 5 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- 6 職員の被服等の給貸与に関する事。
- 7 庁舎の維持管理に関する事。
- 8 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関する事。
- 9 分署に関する事。
- 10 その他、他の主管に属さない事項に関する事。

警防第1係、警防第2係、警防第3係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関する事。
- 2 警防、救急隊の編成及び運用に関する事。
- 3 救助隊の編成及び運用に関する事。
- 4 消防計画の運用に関する事。
- 5 車両の点検、整備及び管理に関する事。
- 6 消防、救助、救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関する事。
- 7 職員の教養訓練に関する事。
- 8 装備及び資材に関する事。
- 9 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関する事。
- 10 災害現場における警戒区域の設定に関する事。
- 11 警防調査に関する事。
- 12 消防団との連絡及び協同行動に関する事。
- 13 自衛消防隊の指導に関する事。
- 14 相互応援の実施に関する事。
- 15 その他、他の主管に属さない警防、救急及び救助に関する事。

救急第 1 係、救急第 2 係、救急第 3 係

- 1 救急隊の編成及び運用に関すること。
- 2 救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 3 その他、他の主管に属さない救急に関すること。

予防第 1 係、予防第 2 係、予防第 3 係

- 1 火災等災害予防の企画及び指導に関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 4 危険物規制の調査、指導及び取締りに関すること。
- 5 防火管理の指導に関すること。
- 6 建築許可等の同意事務の調査に関すること。
- 7 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 8 屋外における火災予防に関すること。
- 9 火の使用の制限に関すること。
- 10 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 11 火災等災害報告に関すること。
- 12 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 13 防火協力団体の指導に関すること。
- 14 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

分署事務分掌

庶務係

- 1 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- 2 職員の服務に関すること。
- 3 職員の健康管理に関すること。
- 4 庁舎の維持管理に関すること。
- 5 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 6 その他、他の主管に属さない庶務に関すること。

警防救急係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関する事。
- 2 警防、救急及び救助活動並びに訓練に関する事。
- 3 警防隊及び救急隊の編成、運用に関する事。
- 4 車両の点検、整備及び管理に関する事。
- 5 消防、救急用機械器具及び設備の点検、整備に関する事。
- 6 装備及び資材に関する事。
- 7 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関する事。
- 8 警防調査に関する事。
- 9 消防団との連絡及び協同行動に関する事。
- 10 自衛消防隊の指導に関する事。
- 11 その他、他の主管に属さない警防、救急に関する事。

予 防 係

- 1 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関する事。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関する事。
- 3 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関する事。
- 4 屋外における火災予防に関する事。
- 5 火の使用の制限に関する事。
- 6 火災予防思想の普及宣伝に関する事。
- 7 火災等災害報告に関する事。
- 8 火災予防条例関係の届出に関する事。
- 9 防火協力団体の指導に関する事。
- 10 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関する事。

消防機関所在地

名称	所在地	電話番号	郵便番号
伊達地方消防組合 消 防 本 部	伊達市保原町大泉字大地内 93-1	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4103	960-0634
中 央 消 防 署	〃	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4124	〃
中央消防署東分署	伊達市霊山町下小国字畑尻 45-3	TEL 024-586-1254 FAX 024-586-3430	960-0808
中央消防署西分署	桑折町大字上郡字楽 5	TEL 024-582-3190 FAX 024-582-4904	969-1661
中央消防署南分署	川俣町字五百田 31	TEL 024-566-2145 FAX 024-566-4406	960-1428
中央消防署北分署	伊達市梁川町希望ヶ丘 97-1	TEL 024-577-1244 FAX 024-577-4469	960-0729



←消防本部・中央消防署



東分署→



←西分署



南分署→



←北分署

消防訓練塔



消防庁舎の現状

名称	区分	敷地面積 m ²	構造	建築延面積 m ²	建築年月日
消防本部		5,864	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,081.96	昭和 47.3
中央消防署					
高所訓練塔			鉄筋コンクリート造 5 階建	245.0	昭和 56.2
耐熱耐煙訓練塔兼補助塔			鉄筋コンクリート 2 階建	495.5	昭和 56.2
車庫兼資材庫			鉄骨ブロック造平屋建	60.0	昭和 61.7
東分署		1,988	鉄筋コンクリート造 2 階建	377.71	昭和 47.3
西分署		2,005	鉄筋コンクリート造 2 階建	570.92	昭和 48.3
南分署		1,441	鉄骨ブロック造 2 階建	465.23	昭和 44.10
北分署		2,113	鉄筋コンクリート造 一部部鉄骨造 2 階建	560.57	平成 15.2

平成23年度一般会計予算

歳入

(単位:千円)

款	本年度	左の構成率	前年度	左の構成率	比較	
	予算額	%	予算額	%	A - B	(A - B) %
	A	%	B	%	A - B	(A - B) %
1 分担金及び負担金	1,444,300	94.4	1,444,300	92.0	0	0.0
2 使用料及び手数料	723	0.0	823	0.1	100	12.2
3 国庫支出金	1	0.0	0	0.0	1	皆増
4 財産収入	30	0.0	60	0.0	30	50.0
5 寄附金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 繰入金	34,500	2.3	0	0.0	34,500	皆増
7 繰越金	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0
8 諸収入	12,745	0.8	12,616	0.8	129	1.0
9 組合債	35,100	2.3	108,000	6.9	72,900	67.5
歳入合計	1,530,400	100.0	1,568,800	100.0	38,400	2.4

歳出

(単位:千円)

款	本年度	左の構成率	前年度	左の構成率	比較	
	予算額	%	予算額	%	A - B	(A - B) %
	A	%	B	%	A - B	(A - B) %
1 議会費	1,253	0.1	1,221	0.1	32	2.6
2 総務費	76,711	5.0	58,896	3.8	17,815	30.2
3 消防費	1,435,505	93.8	1,498,104	95.5	62,599	4.2
4 公債費	13,076	0.9	6,727	0.4	6,349	94.4
5 予備費	3,855	0.2	3,852	0.2	3	0.1
歳出合計	1,530,400	100.0	1,568,800	100.0	38,400	2.4

職員配置状況調

(平成23年9月1日現在)

区分	階級 人員	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	その他の職員	毎日勤務者数
合計	153	1	5	33	49	23	0	40	2	31
消防本部	消防長	1	1							1
	次長	1		1						1
	総務課長	(1)		(1)						
	総務課主幹	3			2				1	3
	総務係	(1)1			(1)	1				1
	管理係	(1)							(1)	
	財政係	(1)2			(1)		1		1	1
	警防課長	1		1						1
	警防課主幹	2			2					2
	警防係	2				1	1			2
	救急係	(1)1			(1)	1				
	予防課長	1		1						1
	予防課主幹	1			1					1
	予防係	2				2				1
	危険物係	(1)1			(1)	1				1
	消防本部付	9				1	1		7	
計	28	1	3	5	7	3		7	2	25
中央消防署	署長	1		1						1
	次長	1		1						1
	主幹(当直司令)	3			3					
	庶務係	(9)			(1)		(4)		(4)	
	警防係	(1)10			3	(1)1	4		2	
	救急係	(2)6			3	2	(2)1			
	予防係	(1)10			3	(1)3	2		2	
	東分署	22			4	9	2		7	1
	西分署	25			4	11	2		8	1
	南分署	25			4	9	5		7	1
	北分署	22			4	7	4		7	1
計	125		2	28	42	20		33		6

(注):()は兼務を示す。

職 員 階 級 別 勤 続 年 数 調

(平成23年5月1日現在)

年数	階級	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
1年未満		7							7	
1年以上	2年未満	10							10	
2年以上	3年未満	9							9	
3年以上	4年未満	8					1		7	
4年以上	5年未満	7					2		5	
5年以上	6年未満	4					4			
6年以上	7年未満	4					2		2	
7年以上	8年未満	3					3			
8年以上	9年未満	3					3			
9年以上	10年未満	5				2	3			
10年以上	11年未満									
11年以上	12年未満	4				1	3			
12年以上	13年未満									
13年以上	14年未満	3				2	1			
14年以上	15年未満									
15年以上	16年未満	3				2	1			
16年以上	17年未満									
17年以上	18年未満									
18年以上	19年未満									
19年以上	20年未満	3				3				
20年以上	21年未満									
21年以上	22年未満									
22年以上	23年未満									
23年以上	24年未満	2				2				
24年以上	25年未満									
25年以上	26年未満									
26年以上	27年未満	4				4				
27年以上	28年未満									
28年以上	29年未満	8			2	6				
29年以上	30年未満	2			1	1				
30年以上		64	1	5	30	26				2
合	計	153	1	5	33	49	23		40	2
平	均	20.91	39.25	38.87	36.56	29.13	7.74		2.11	35.08

職 員 階 級 別 年 齢 調

(平成23年5月1日現在)

階級 年 齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その 他の職員
20 歳 未 満	4							4	
20 歳 ~ 25 歳	40					6		34	
26 歳 ~ 30 歳	13					11		2	
31 歳 ~ 35 歳	13				7	6			
36 歳 ~ 40 歳	3				3				
41 歳 ~ 45 歳	6				6				
46 歳 ~ 50 歳	16			4	12				
51 歳 ~ 55 歳	21			11	9				1
56 歳 以 上	37	1	5	18	12				1
合 計	153	1	5	33	49	23		40	2
平 均 年 齢	40.62	59.17	57.62	55.36	48.20	28.56		22.77	55.67

職 員 市 町 村 別 居 住 地 調

(平成23年5月1日現在)

階級 年 齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その 他の職員
伊 達 市	89	1	5	20	26	12		23	2
桑 折 町	17			7	3	4		3	
国 見 町	12			3	5	1		3	
川 俣 町	21			3	10	4		4	
福 島 市	14				5	2		7	
相 馬 市									
合 計	153	1	5	33	49	23		40	2

職 員 研 修 状 況 調

(平成22年4月～平成23年3月)

区 分		回 数	人 員	階 級 別 内 訳						
				消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
福 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育	2	10							10
	火 災 調 査 科	1	2				1	1		
	救 助 科	1	1					1		
	救 急 科	1	9							9
	初 級 幹 部 科	1	2					2		
	上 級 幹 部 科	1	1			1				
	救 急 救 命 士 養 成 補 助 教 育 科	1	2					2		
大 消 防 学 校	救 助 科	1	1					1		
研 究 所	法 執 務 講 座	1	1				1			
	地 方 公 会 計 財 務 書 類 作 成 講 座	4	1					1		
	救 急 救 命 士 養 成 研 修	1	1					1		
	薬 剂 投 与 追 加 講 習	1	1				1			
計		16	32			1	3	9		19

職員特殊技能その他資格取得者調

平成23年9月1日現在

種別	階級	消防監	消防司令	消防司令	消防司令	消防補士	消防長	消防副長	消防士	その他の職員	計	
警防・救急関連	自動車運転免許等	大型	1	4	16	31	22		18		92	
		中型							1		1	
		中型(8t中型限定)		1	17	18	1		8	2	47	
		普通							13		13	
		整備士			1						1	
	小型船舶操縦士			2	8	14	5				29	
	潜水士			1		5	3				9	
	日本赤十字社水上安全法救助員				6	7	1				14	
	高所作業車技能					1					1	
	小型移動式クレーン技能講習				4	11	7		2		24	
	玉掛け技能講習				4	10	5		1		20	
	巻上げ機械運転特別教育				5	8	2				15	
	酸素欠乏等危険作業主任者技能講習					4	3				7	
	ガス溶接技能講習				5	9	5		3		22	
	救急	救急救命士			6	19	7					32
		気管挿管			5	19	5					29
		薬剤投与			2	5	4					11
		課程		3	25	23						51
		課程	1		2							3
救急科(旧標準課程含む)						7	15		24		46	
ACLS				6	14						20	
JPTEC				3	16	11		6			36	
BLS			1	5	3		4			13		
特殊無線技士			3	13	17	11		2		46		
予防関連	予防技術検定	防火査察				5	7		5		17	
		危険物				2	1				3	
		消防用設備等					1				1	
	危険物取扱者	甲種		1	1						2	
		乙種	1	5	19	16	18		23		82	
	消防設備士	甲種		1	1						2	
		乙種			4	6			1		11	
防火対象物点検資格者				1	1					2		
電気工事士			1	3		1		1		6		
その他	火薬類取扱保安責任者		1								1	
	衛生管理者		2						1		3	
	特定化学物質等作業主任者		1	3	4	1			1		10	

火 災 統 計

平成23年度全国統一防火標語

消したはず 決めつけしないで もう一度

平成22年火災概要

1 火災件数

総出火件数は39件で、前年の52件に比べ13件(25%)減少しており、ひと月あたり3.2件の火災が発生したことになる。

これは、組合発足以降2番目に少ないもので、地域住民の住宅用火災警報器(以下「住警器」という。)の設置等にかかる防火意識の高揚と、予防広報の徹底が図られたものと思慮される。

火災種別ごとの内訳(割合)で見ると、建物火災が28件(77%)、林野火災が2件(5%)、車両火災が3件(8%)及びその他火災が6件(15%)となっており、建物火災の占める割合が高い。中でも住宅火災は22件で建物火災の78%を占めた。

また、平成18年6月1日から住警器の設置が義務付けされたことに伴い、住宅火災における住警器の設置の有無を調査した結果、住宅火災22件中7件(前年比5件増)に設置されていた。このうちの1件は、就寝中に火災が発生しているが、住警器が作動したことにより早期に気づき避難したため、命を取り止めることができています。

市町別に火災の発生状況を見ると、伊達市で半数以上の23件(前年比5件減)発生している。次いで川俣町5件(同2件減)、桑折町(同1件減)及び福島市飯野町4件(前年比同)、国見町2件(同6件減)、東北自動車道1件(同1件増)となっている。

2 焼損棟数及び焼損面積

焼損棟数は50棟で、前年に比べ14棟減少している。

焼損程度別にみると、全焼が23棟(焼損棟数比46%)、半焼が5棟(同10%)、部分焼が13棟(同26%)、ぼやが9棟(同18%)で、建物火災1件あたりの焼損棟数は1.8棟であった。

林野火災における焼損面積については、25aと前年に比べ129a減少した。

3 死者及び傷者

火災による死者は1人(前年比4人減)で、住宅火災による逃げ遅れによるものである。

また、傷者は13人(前年比7人増)で、初期消火及び消火作業中に負傷したものである。

4 損害額

損害額は、1億4,371万7千円で、前年に比べると5,859万円減少したこととなる。これを1日平均で見ると39万3千円で、前年に比べると16万1千円減少したこととなる。

また、建物火災1件あたりの平均損害額は504万2千円で、前年に比べると17万4千円増加したこととなる。

5 出火原因

出火原因を原因別(その他及び不明を除く)にみると、焚き火、ストーブ及びたばこが3件(7.7%)と最も多く、風呂かまど2件(5.1%)と続いている。

なお、全国で12年連続1位である放火による火災は無かった(前年比1件減)。

また、コンロが原因となった火災もなく(前年比3件減)、住警器のアンケート調査で多数の奏功事例が確認されたことから、台所への住警器の設置が効果をあげていると思慮される。

火災総括表

区分	市町名	伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月館町	桑折町	国見町	川俣町	飯野町	福島市	東北道	合計	前年同期
	出火件数	計	23	9	5	3	3	3	4	2	5	4	1		39
建物		18	8	4	3	2	1	2	2	4	2			28	40
林野		1					1				1			2	5
車両		1	1					1					1	3	4
その他		3		1		1	1	1		1	1			6	3
焼損棟数	計	33	13	9	5	5	1	2	2	6	7			50	64
	全焼	16	5	5	3	2	1	1		3	3			23	29
	半焼	1		1					1	2	1			5	6
	部分焼	9	3	2	1	3		1			3			13	20
	ぼや	7	5	1	1				1	1				9	9
罹災世帯	計	19	9	3	4	2	1	1	1	3	4			28	30
	全損	8	2	2	2	1	1	1		2	1			12	15
	半損	0									1			1	2
	小損	11	7	1	2	1			1	1	2			15	13
罹災人員		71	37	5	19	6	4	1	1	8	11			92	86
死傷者	死者	1				1								1	5
	傷者	9	5	1	3			1		3				13	6
焼損面積	床	2,894	786	1,065	299	390	354	286	50	476	376			4,082	4,686
	表	64	6	41	7	10					14			78	243
	a	24					24				1			25	154
損害額	計	68,857	15,680	19,277	8,011	9,835	16,054	44,813	105	13,588	16,154	200		143,717	202,307
	建物	67,802	14,750	19,253	7,910	9,835	16,054	43,535	105	13,588	16,154			141,184	194,721
	林野	0												0	2,423
	車両	1,031	930		101			178					200	1,409	5,063
	その他	24		24				1,100						1,124	100

建物火災のうち右下の数値は住宅火災の件数

火災概況及び比較表

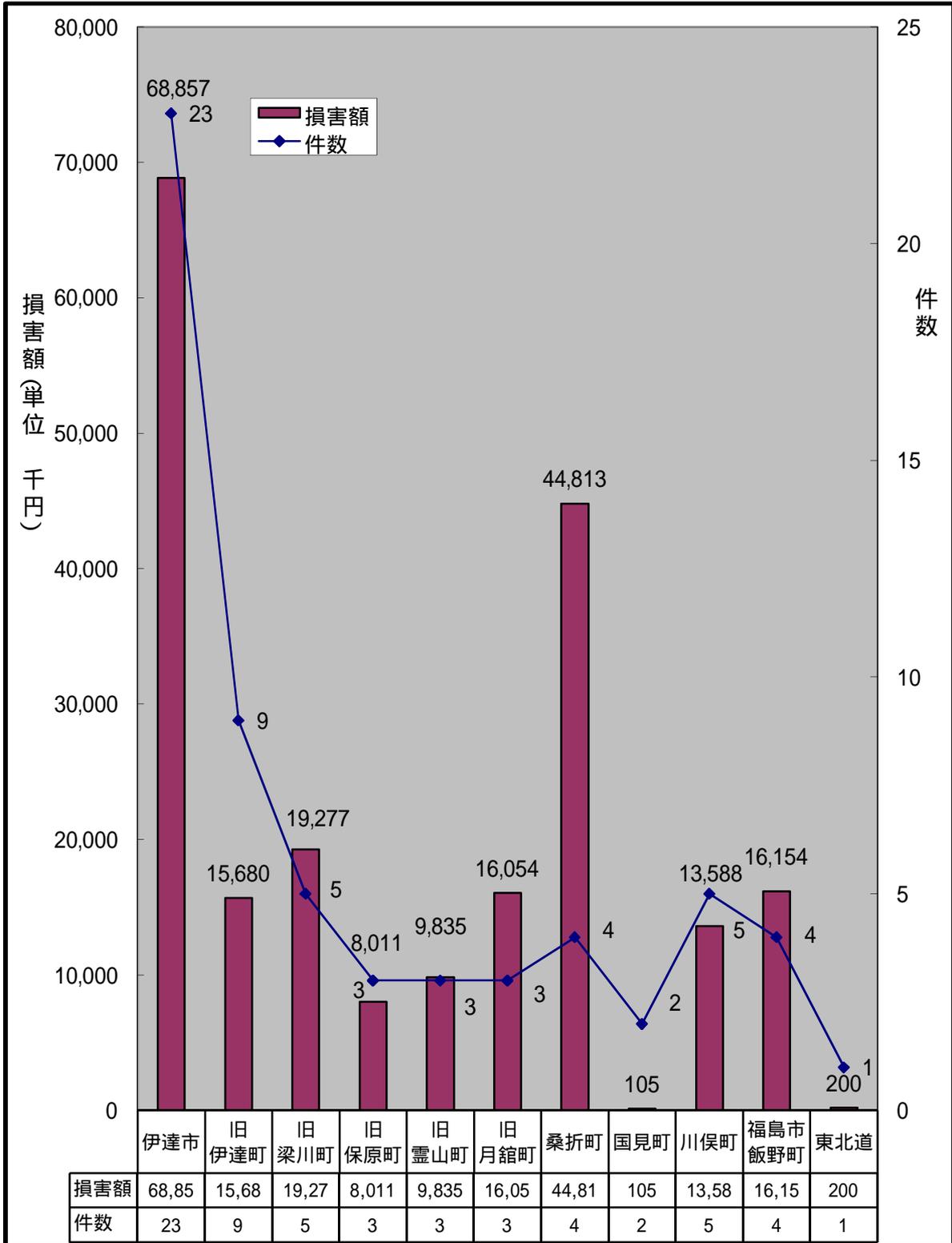
区分		年別		対前年増減数 (A) - (B) = (C)	増減率 (C) ÷ (B) × 100%	
		平成22年 (A)	平成21年 (B)			
火災発生件数	合計	39	52	13	25.0	
	建物火災	28	40	12	30.0	
	林野火災	2	5	3	60.0	
	車両火災	3	4	1	25.0	
	その他火災	6	3	3	100.0	
焼損棟数	合計	50	64	14	21.9	
	全焼	23	29	6	20.7	
	半焼	5	6	1	16.7	
	部分焼	13	20	7	35.0	
	ぼや	9	9	0	0.0	
焼損面積	建物(床) m ²	4,082	4,686	604	12.9	
	建物(表) m ²	78	243	165	67.9	
	林野 a	25	154	129	83.8	
罹災	世帯数	合計	28	30	2	6.7
		全損	12	15	3	20.0
		半損	1	2	1	50.0
		小損	15	13	2	15.4
		人員	92	86	6	7.0
損害額 (千円)	死傷者	合計	143,717	202,307	58,590	29.0
		建物	141,184	194,721	53,537	27.5
		林野	0	2,423	2,423	100.0
		車両	1,409	5,063	3,654	72.2
		その他	1,124	100	1,024	1,024.0
	死者	1	5	4	80.0	
	負傷者	13	6	7	116.7	
1日平均損害額(千円)		393	554	161	29.1	
建物火災のみ1件平均損害額		5,042	4,868	174	3.6	
建物火災のみ1日平均損害額		386	533	147	27.6	

市町別・月別火災発生状況

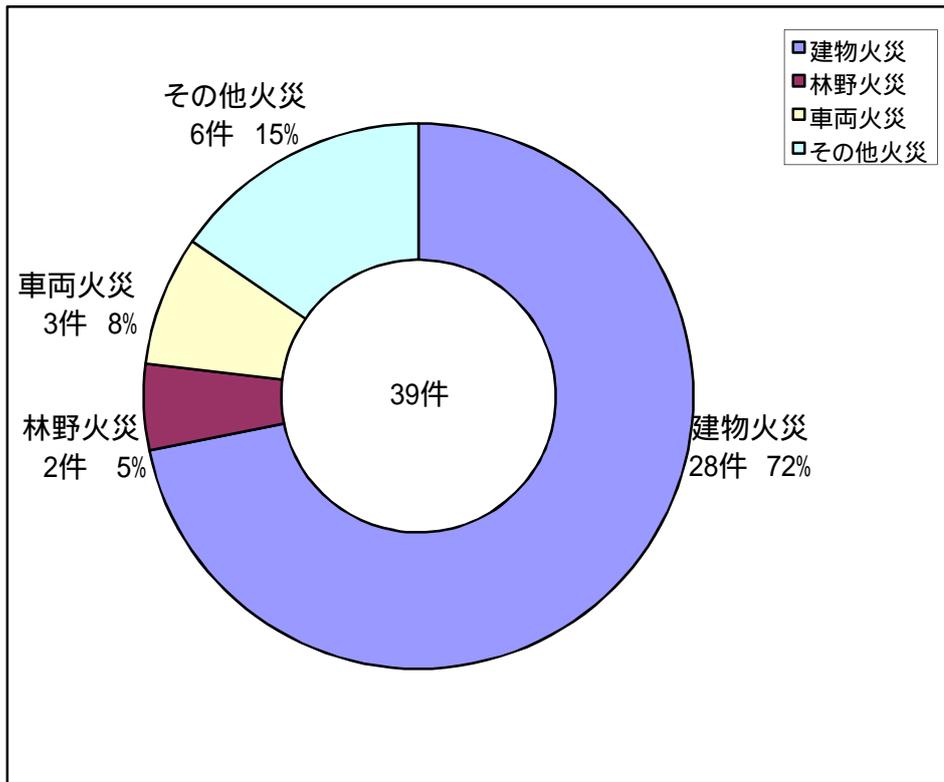
市町別 月別	伊達市						桑折町	国見町	川俣町	飯福野島町市	東北道	合計	前年計
	伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町							
1	2		1	1								2	3
2	2	2					1	1	3	1		8	6(2)
3	3(1)				3(1)		1		1	1		6(1)	6
4	1			1						2		3	8
5	2			1		1						2	5
6	1					1		1				2	5
7	1	1							1			2	1
8	3	1	2								1	4	6(1)
9	2	2										2	2
10	3	2	1									3	3(1)
11	2	1	1				1					3	2
12	1					1	1					2	5(1)
合計	23(1)	9	5	3	3(1)	3	4	2	5	4	1	39(1)	
前年計	28(2)	7(2)	3	6	8	4	5(1)	8(1)	7	4(1)	0		52(5)
増減数	5	2	2	3	5	1	1	6	2	0	1		13

()内は火災による死者数

火災件数と損害額

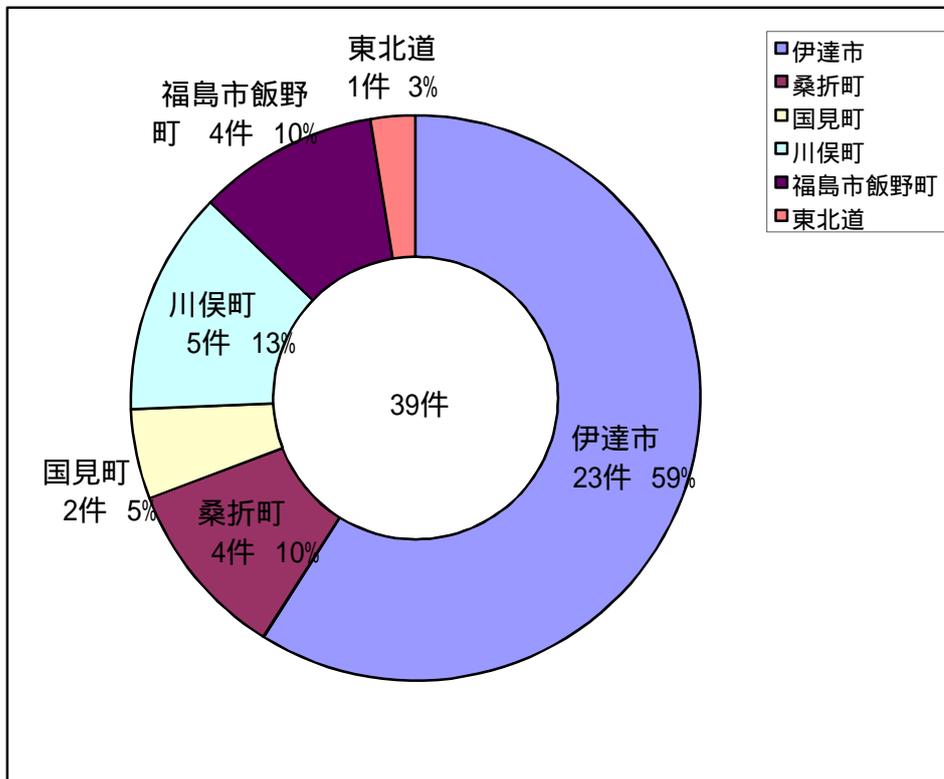


火災種別発生率



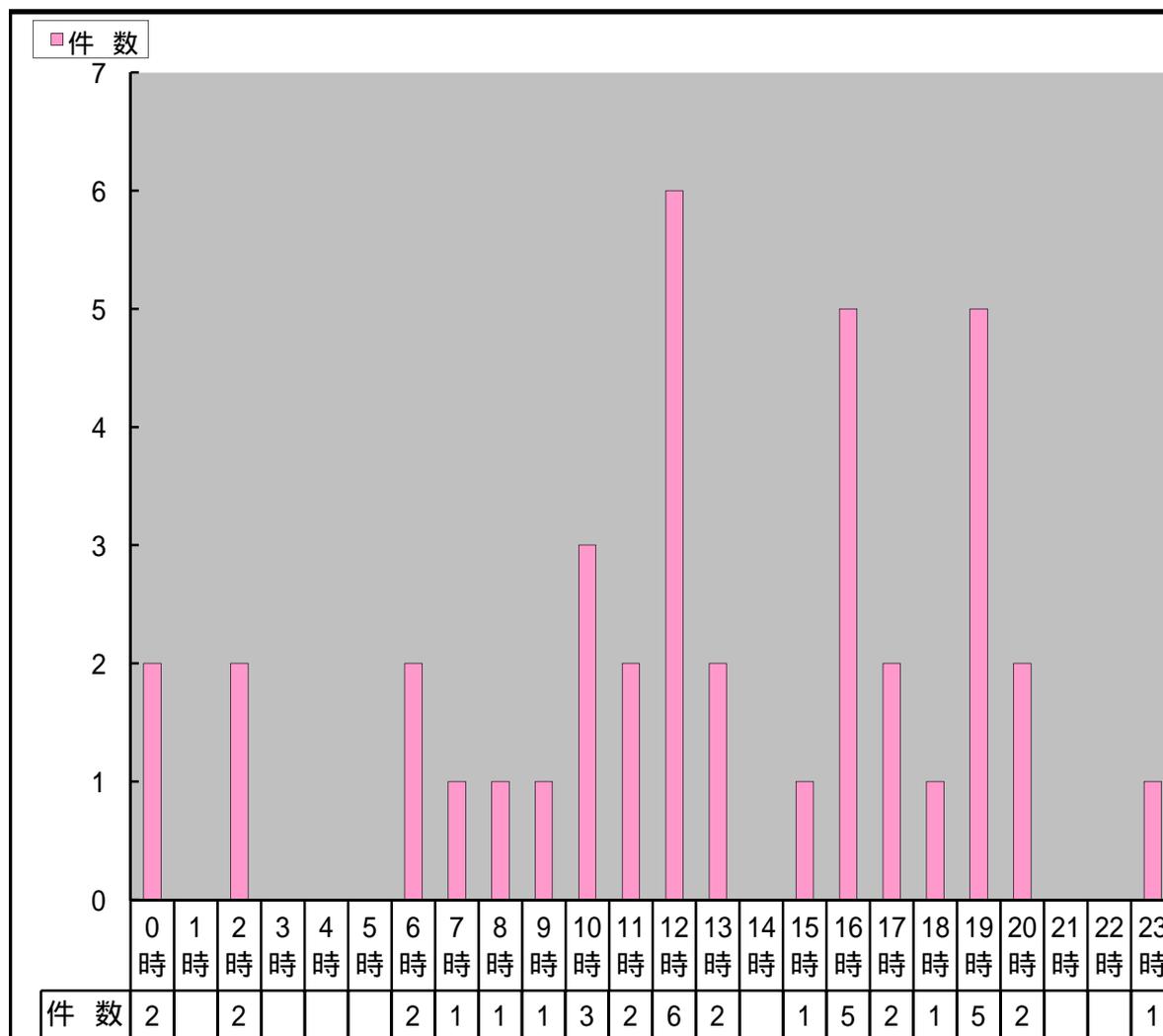
(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

市町別火災発生率



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

時間別火災発生状況



覚知方法別出火件数

覚知別	出火件数(件)	構成比(%)
火災報知専用電話(119)	22	56
火災報知専用電話(携帯)	11	28
加入電話	1	3
事後聞知	4	10
その他	1	3
合計	39	100

(注)構成比は、表示単位未満四捨五入。

出火率の推移

年別 市町別	13年	14年	15年	16年	17年	17年	19年	20年	21年	22年
伊達市						4.1	6.2	3.7	4.1	3.4
旧伊達町	0.9	5.6	0.0	3.6	3.7					
旧梁川町	3.8	5.2	8.7	7.1	3.8					
旧保原町	4.0	6.0	3.2	5.6	4.8					
旧靈山町	7.2	10.3	8.4	3.0	7.3					
旧月舘町	15.3	6.6	0.0	17.3	4.4					
桑折町	3.7	5.9	4.4	2.9	2.9	4.4	2.2	5.3	3.7	3
国見町	6.3	3.6	7.3	7.2	3.6	3.7	5.6	1.9	7.6	1.9
川俣町	3.4	7.5	6.9	8.9	6.2	4.6	6.1	3.1	4.6	3.1
福島市飯野町	1.5	7.5	4.5	14.8	4.4	4.5	3.1	3.2	6.5	6.5
伊達管内	4.3	6.4	5.4	6.8	4.6	4.2	5.4	3.7	4.5	3.4
福島県	5.1	6.4	5.8	5.7	4.3	4.6	4.5	4.0	4.3	3.5
全国	5.0	5.0	4.4	4.8	4.5	4.2	4.3	4.1	4.0	3.6

- (注) 1 桑折町、国見町は東北自動車道における火災を除く。
 2 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。
 3 人口は、各市町4月1日現在の推計人口。

火災による死傷者の推移

(単位：人)

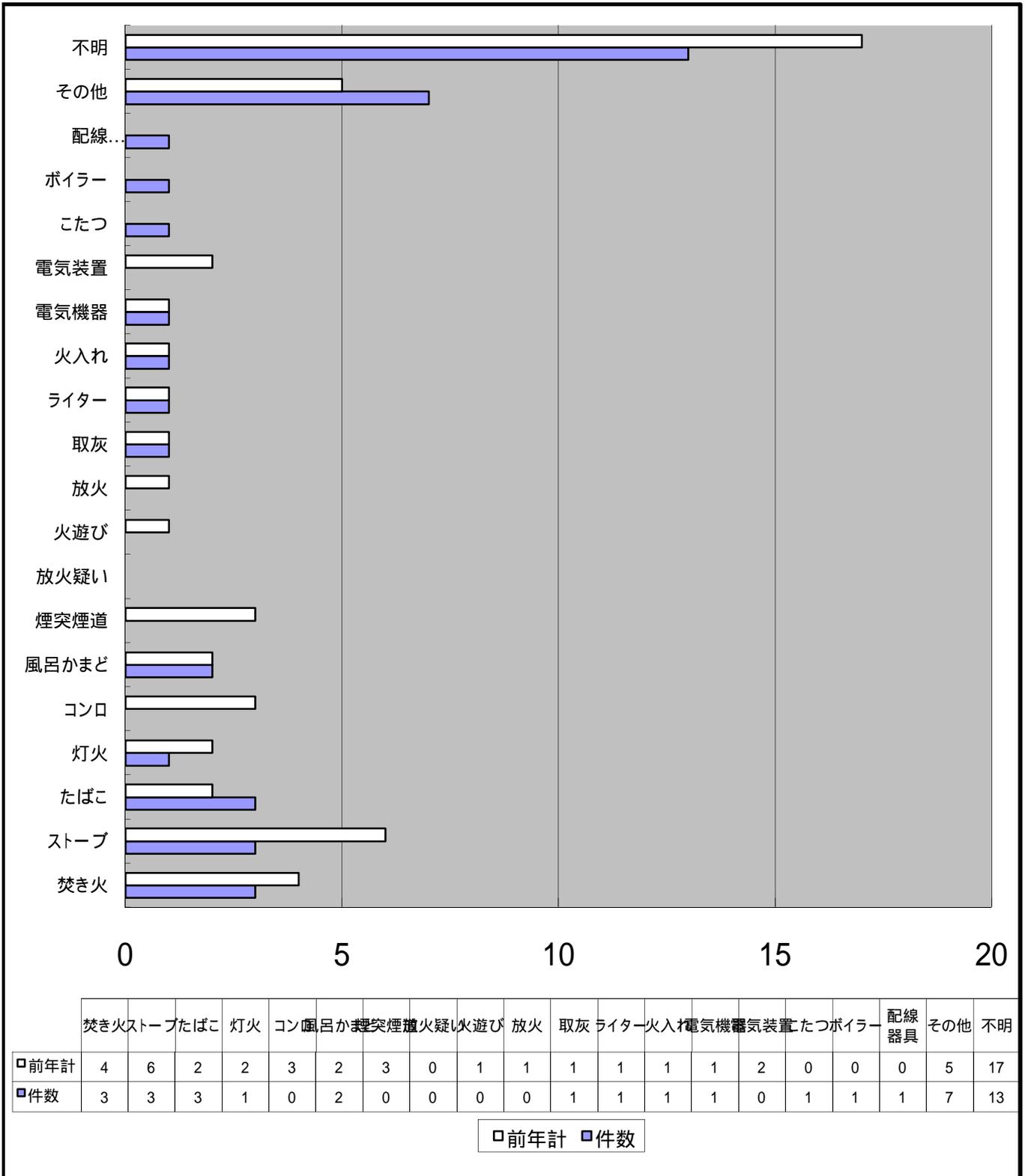
年別 区分	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
死者	5	5	4	2	1	3	1	2	5	1
放火自殺	4	1	2	0	0	3	0	0	0	0
負傷者	11	10	11	19	6	4	6	5	6	9

過去5年間に於ける各市町火災発生状況

(損害額 単位:千円)

市町別 区分		年別					合計	
		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年		
伊達市	出火件数	29	43	25	28	23	148	
	損害額	72,289	42,383	46,419	43,718	68,857	204,809	
	旧伊達町	出火件数	2	6	5	7	9	29
		損害額	182	2,173	11,225	9,902	15,680	39,162
	旧梁川町	出火件数	7	14	7	3	5	36
		損害額	30,751	10,492	20,007	1,990	19,277	82,517
	旧保原町	出火件数	9	11	6	6	3	35
		損害額	11,806	2,145	4,207	3,440	8,011	29,609
	旧靈山町	出火件数	6	9	6	8	3	32
		損害額	22,124	20,701	10,980	25,390	9,835	89,030
	旧月舘町	出火件数	5	3	1	4	3	16
		損害額	7,426	6,872	0	2,996	16,054	33,348
	桑折町	出火件数	6	3	7	5	4	25
		損害額	3,502	55	1,697	11,806	44,813	61,873
国見町	出火件数	4	6	2	8	2	22	
	損害額	7,132	19,503	1,851	91,449	105	120,040	
川俣町	出火件数	8	10	5	7	5	35	
	損害額	42,016	17,992	2,232	23,702	13,588	99,530	
福島市飯野町	出火件数	3	2	2	4	4	15	
	損害額	21,380	108	52	31,632	16,154	69,326	
東北道	出火件数	0	0	0	0	1	1	
	損害額	0	0	0	0	200	200	
合計	出火件数	50	64	41	52	39	246	
	損害額	146,319	80,041	52,251	202,307	143,717	480,918	

原因別火災発生状況



気象別出火件数調(湿度)

度 月別	湿							
	40%以下	40%を越え 50%以下	50%を越え 60%以下	60%を越え 70%以下	70%を越え 80%以下	80%を越え 90%以下	90%越え	計
1月					1	1		2
2月	0:00		1	1		1	1	7
3月	1	2			2	1	1	7
4月		2				1		3
5月	1	1						2
6月	1					1		2
7月				1		1		2
8月	1			1		2		4
9月	1					1		2
10月	2						1	3
11月	1	1			1			3
12月					1	1		2
計	11	6	1	3	5	10	3	39

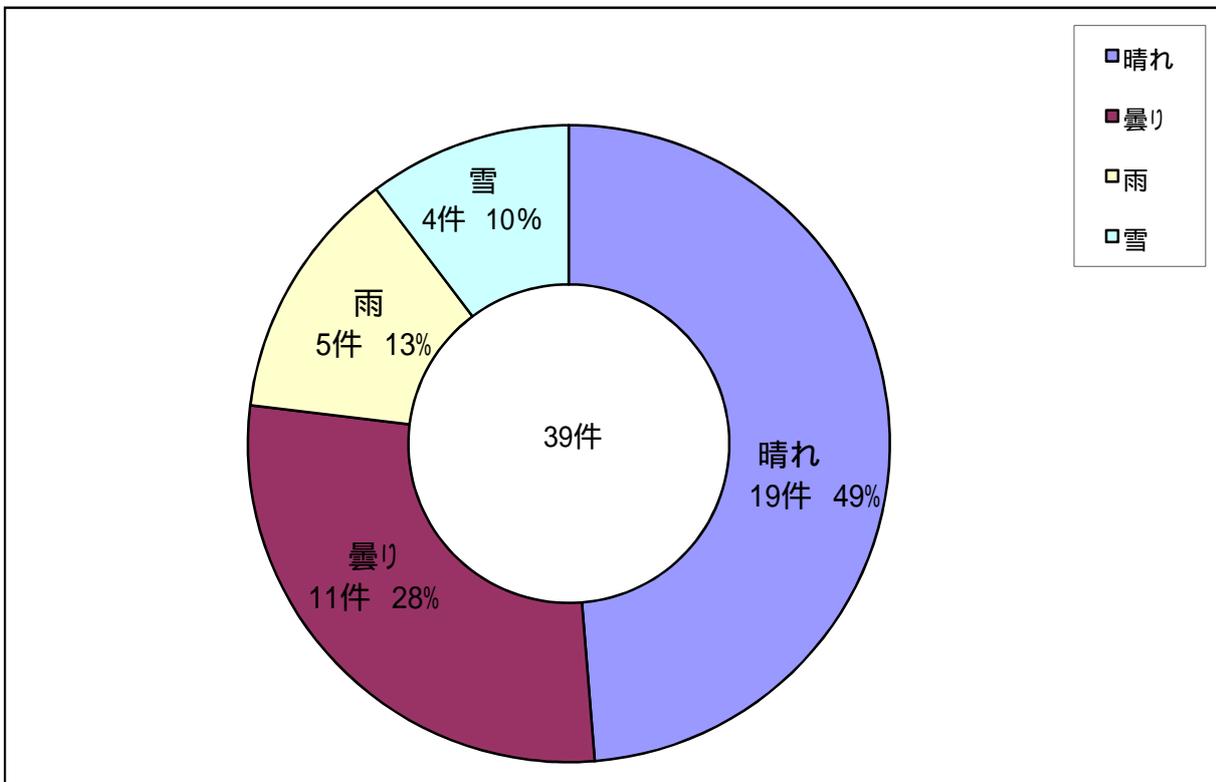
気象別出火件数調(風速)

風速 月別	風速												計
	1 m 以下	2 m	3 m	4 m	5 m	6 m	7 m	8 m	9 m	10 m	11 m	12 m 以上	
1月		1					1						2
2月	3	3	1										7
3月	2	3		1	1								7
4月			2			1							3
5月	1				1								2
6月	1					1							2
7月		2											2
8月	2	1		1									4
9月	1			1									2
10月	1		1			1							3
11月	1	1	1										3
12月	1	1											2
計	13	12	5	3	2	3	1	0	0	0	0	0	39

曜日別出火件数調

月別 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
1月				1		1		2
2月	1		1	1	3	1		7
3月		2	1	3			1	7
4月	1		1		1			3
5月	1			1				2
6月	1			1				2
7月			1			1		2
8月		1	1			2		4
9月		1					1	2
10月		1	1		1			3
11月				1		1	1	3
12月					1	1		2
計	4	5	6	8	6	7	3	39

気象別出火件数調(天候)



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入。

全国及び福島県の火災記録(10年間)

年・国・県別		区分	火災件数	罹災世帯数	焼損面積		損害額 (千円)	死者	傷者
					建物(m ²)	林野(a)			
平成13年	全国		63,591	30,775	1,598,642	177,288	147,355,425	2,195	8,244
	福島県		1,108	468	49,796	3,749	4,771,332	52	148
平成14年	全国		63,575	31,288	1,634,416	264,279	174,004,675	2,232	8,643
	福島県		1,346	550	55,569	4,845	3,607,065	63	162
平成15年	全国		56,329	29,362	1,626,146	105,041	145,392,787	2,254	8,446
	福島県		1,219	531	52,197	3,417	2,779,678	67	170
平成16年	全国		60,394	29,779	1,573,642	156,735	134,915,488	1,993	8,646
	福島県		1,205	509	52,592	4,488	2,837,053	45	155
平成17年	全国		57,487	29,936	1,555,831	110,223	157,576,400	2,197	8,854
	福島県		915	451	42,892	7,563	3,721,132	57	125
平成18年	全国		53,260	29,125	1,385,310	84,280	116,585,589	2,066	8,538
	福島県		959	472	34,756	1,262	2,279,636	56	146
平成19年	全国		54,579	28,630	1,390,379	71,718	125,440,111	2,001	8,471
	福島県		952	440	42,276	2,016	2,829,509	52	138
平成20年	全国		52,394	26,808	1,316,890	84,325	108,681,199	1,967	7,979
	福島県		838	412	43,976	1,133	2,700,770	43	120
平成21年	全国		51,124	25,336	1,223,353	106,276	93,009,679	1,877	7,615
	福島県		882	394	35,745	1,979	2,003,738	47	134
平成22年	全国		46,620	23,865	1,187,415	75,549	101,762,173	1,738	7,305
	福島県		730	386	34,610	1,650	1,438,357	43	141

危険物統計

平成23年度危険物安全週間推進標語

『 危険物無事故のゴールは譲れない！ 』

市町別危険物製造所等

(平成23年3月31日現在)

製造所等 市町名	合計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所
伊 達 市	298	184	27	28	4	86	36	3	114	55	59
	290	179	25	27	4	85	36	2	111	53	58
旧伊達町	79	54	7	12	3	21	11		25	14	11
	77	52	6	12	3	20	11		25	14	11
旧梁川町	92	57	8	10	1	26	12		35	14	21
	90	55	7	9	1	26	12		35	14	21
旧保原町	82	45	5	4		30	5	1	37	18	19
	79	45	5	4		30	5	1	34	16	18
旧霊山町	28	19	4	2		3	8	2	9	5	4
	27	18	4	2		3	8	1	9	5	4
旧月舘町	17	9	3			6			8	4	4
	17	9	3			6			8	4	4
桑 折 町	65	43	6	5		25	7		22	8	14
	65	43	6	5		25	7		22	8	14
国 見 町	44	26	3	2	1	13	7		18	9	9
	43	25	3	2	1	13	6		18	9	9
川 俣 町	81	52	12	7	1	18	11	3	29	10	19
	79	50	12	7	1	18	11	1	29	10	19
福島市飯野町	17	4	2			2			13	6	7
	17	4	2			2			13	6	7
合 計	505	309	50	42	6	144	61	6	196	88	108
	494	301	48	41	6	143	60	3	193	86	107

(注) 下段は、完成検査済証交付施設数

倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設)

(平成23年3月31日現在)

製造所等 市町名	合計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
5倍以下	247	200	29	12	5	95	56	3	47	2	45
5倍をこえ 10倍以下	98	55	14	11	1	28	1		43	2	41
10倍をこえ 50倍以下	81	37	4	17		15	1		44	23	21
50倍をこえ 100倍以下	26	7	1	1		3	2		19	19	
100倍をこえ	42	2				2			40	40	
合計	494	301	48	41	6	143	60	3	193	86	107

容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設)

(平成23年3月31日現在)

容量(リットル)	タンク数	割合(%)
10,000未満	11	26.8
10,000以上 20,000未満	15	36.6
20,000以上 30,000未満	5	12.2
30,000以上 40,000未満	4	9.8
40,000以上 50,000未満	3	7.3
50,000以上	3	7.3
合計	41	100.0

予 防 統 計



平成22年度 伊達地方消防組合消防本部 防火ポスターコンクール最優秀作品

(川俣町立富田小学校3年 佐藤彩佳さんの作品です。)

市町別・工事種別同意処理状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

市町別	種別									計
	新築	増築	改築	用途変更	移転	大規模模様替	大規模修繕	その他		
伊達市	23	29		2	1					55
桑折町	6	12								18
国見町	2	7		1		1				11
川俣町	9	6		1			1			17
福島市飯野町		2								2
計	40	56		4	1	1	1			103

市町別・月別同意処理状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

市町別	月別													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
伊達市	2	5	6	7	4	4	3	6	3	3	5	7	55	
桑折町	1	2	6			1	2	1	3	1	1		18	
国見町			1		2	2		1		4		1	11	
川俣町	2	3		2		2	3	1	1	2	1		17	
福島市飯野町	1					1							2	
計	6	10	13	9	6	10	8	9	7	10	7	8	103	

市町別・用途別建築同意処理状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

市町別		伊達市	桑折町	国見町	川俣町	飯野島町市	計
防火対象物							
(1)	イ 劇場、映画館等						
	ロ 公会堂、集会場						
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ						
	ロ 遊技場、ダンスホール						
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
(3)	イ 待合、料理店の類						
	ロ 飲食店	1					1
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	3	1				4
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所				1		1
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	3					3
(6)	イ 病院、診療所、助産所	1					1
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	2	1		1		4
	ハ 老人デイサービスセンター等	2					
ニ 幼稚園、盲ろう学校の類							
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類			1	1		2
(8)	図書館、博物館の類						
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類						
	ロ イ、以外の公衆浴場						
(10)	車両の駐車場の類						
(11)	神社、寺院、教会の類	1					1
(12)	イ 工場、作業場	1					1
	ロ テレビスタジオ等						
(13)	イ 自動車車庫、駐車場						
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(14)	倉庫	2	1		2		5
(15)	前各項に該当しない事業場	6	1	2		2	11
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複	1		1	2		4
	ロ 上記以外の複						
住 宅		15	9	1	3		28
そ の 他		38	12	8	8		66
合 計		76	25	13	18	2	134

(注) 1. 複 は、複合用途防火対象物を示す。

2. (1)～(16)までの調査対象は、延べ面積150平方メートル以上。

防火対象物施設数

(平成23年3月31日現在)

市町別		伊達市	桑折町	国見町	川俣町	飯野島市	計	
防火対象物								
(1)	イ	劇場、映画館等	1	0	0	1	0	2
	ロ	公会堂、集会場	49	6	6	20	4	85
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	0	0	0	1	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	2	0	0	0	0	2
(3)	イ	待合、料理店の類	2	3	0	3	1	9
	ロ	飲食店	16	0	3	1	0	20
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	65	14	10	23	6	118
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12	0	2	5	3	22
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	200	28	15	18	0	261
(6)	イ	病院、診療所、助産所	36	3	2	9	3	53
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	12	5	0	4	1	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	24	4	2	3	2	35
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	17	6	1	6	1	31
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	75	12	8	30	8	133
(8)		図書館、博物館の類	3	1	0	2	0	6
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ、以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0
(10)		車両の駐車場の類	1	0	0	0	0	1
(11)		神社、寺院、教会の類	37	8	5	4	2	56
(12)	イ	工場、作業場	254	50	34	90	50	478
	ロ	テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	10	1	1	0	1	13
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0
(14)		倉庫	166	34	18	29	14	261
(15)		前各項に該当しない事業場	163	41	39	58	14	315
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	63	7	10	19	4	103
	ロ	上記以外の(複)	21	2	0	8	3	34
(17)		重要文化財	1	1	1	0	0	3
合 計			1,235	226	157	333	118	2,069

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

防火対象物の階層別・面積別調

(平成23年3月31日現在)

		階 層 別							面積別 (㎡)									
		一	二	三	四	五	六	七	計	150	150	300	500	700	1,000	6,000	10,000	計
		階	階	階	階	階	階	階以上		未満	{ 299	{ 499	{ 699	{ 999	{ 5,999	{ 9,999	以上	
(1)	イ	劇場、映画館等		2					2						2			2
	ロ	公会堂、集会場	50	28	7				85		23	28	12	9	13			85
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ																
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	3					6		2	2		1	1			6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																
	ニ	カラオケボックス等	1	1					2			2						2
(3)	イ	待合、料理店の類	1	8					9		2	4	1	2				9
	ロ	飲食店	11	7	1	1			20		13	4	2	1				20
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	82	34	2				118		34	23	20	7	32	2		118
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	14	3		1	1	22		3	4	5	5	5			22
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	3	193	42	9	14		261		132	62	20	12	35			261
(6)	イ	病院、診療所、助産所	17	27	2	4	2	1	53		17	14	6	4	9	1	2	53
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	8	9	5				22		2	2	3		14		1	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	24	10	1				35		7	9	8	8	3			35
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	27	4					31		9	13	6	2	1			31
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	58	32	35	8			133		9	16	17	20	64	6	1	133
(8)		図書館、博物館の類	2	3	1				6			3	1		2			6
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類																
	ロ	イ、以外の公衆浴場																
(10)		車両の駐車場の類	1						1		1							1
(11)		神社、寺院、教会の類	25	31					56		10	24	14	7	1			56
(12)	イ	工場、作業場	260	210	7	1			478		78	102	65	75	136	8	14	478
	ロ	テレビスタジオ等																
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	11	2					13		9	3	1					13
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫																
(14)		倉庫	192	65	4				261		76	72	36	36	38	3		261
(15)		前各項に該当しない事業場	110	160	37	4	3	1	315		69	94	47	34	69	2		315
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複	20	53	24	4	1	1	103		21	35	19	11	16	1		103
	ロ	上記以外の複	2	24	7			1	34		4	14	11	2	3			34
(17)		重要文化財	1	1	1				3	1			2					3
合 計			912	921	179	31	21	3	2069	1	521	530	296	236	444	23	18	2069

(注) 1. 複 は、複合用途防火対象物を示す。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

甲種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成23年3月31日現在)

区分 防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福野島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等							1	1			1	1
	ロ 公会堂、集会場	43	42	5	5	2	1	8	8	1	1	59	57
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	3	3							1	1	4	4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	ニ カラオケボックス等	2	1									2	1
(3)	イ 待合、料理店の類	1	1	2	2			1	1	1	1	5	5
	ロ 飲食店	5	2	1	1							6	3
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	42	36	7	6	8	6	18	18	2	2	77	68
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所	9	9			2	2	3	2	1	1	15	14
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	12	11	1	1	1	1	3	1			17	14
(6)	イ 病院、診療所、助産所	10	10			1	1	1	1	2	2	14	14
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	9	9	5	4			4	4	1	1	19	18
	ハ 老人デイサービスセンター等	16	16	3	3	1	1	3	3	2	2	25	25
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類	11	11	3	3	1	1	3	3	1	1	19	19
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	30	29	6	6	4	4	9	9	4	4	53	52
(8)	図書館、博物館の類	2	2					1	1			3	3
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の駐車場の類												
(11)	神社、寺院、教会の類	13	11	2	2	1	1			1		17	14
(12)	イ 工場、作業場	29	28	8	8	5	4	8	8	3	3	53	51
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場												
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	2	2	1	1							3	3
(15)	前各項に該当しない事業場	39	38	5	5	6	6	5	5	3	2	58	56
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	40	29	2	2	9	9	8	6	3	3	62	49
	ロ 上記以外の(複)	5	5	1	1							6	6
(17)	重要文化財												
合 計		323	295	52	50	41	37	76	71	26	24	518	477

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

乙種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成23年3月31日現在)

防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯野島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等												
	ロ 公会堂、集会場	3	3			1	1	11	10	3	3	18	17
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	1	1									1	1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
(3)	ニ カラオケボックス等												
	イ 待合、料理店の類							1	1			1	1
(4)	ロ 飲食店	14	9			1	1	1	1			16	11
	イ 百貨店、マーケット、店舗の類	3	2	1	1			1	1	1		6	4
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所												
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅												
(6)	イ 病院、診療所、助産所												
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等												
	ハ 老人デイサービスセンター等	1	1			1	1					2	2
(7)	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類			1	1							1	1
	イ 小学校、中学校、高等学校、大学の類												
(8)	ロ 図書館、博物館の類							1	1			1	1
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	イ 車両の駐車場の類												
(11)	ロ 神社、寺院、教会の類			3	3	1	1	1				5	4
(12)	イ 工場、作業場												
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場												
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	イ 倉庫												
(15)	ロ 前各項に該当しない事業場	2	2	1	1			6	6			9	9
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	3	1					1	1			4	2
	ロ 上記以外の(複)							1	1			1	1
(17)	イ 重要文化財												
合 計		27	19	6	6	4	4	24	22	4	3	65	54

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

防火対象物立入検査実施状況

(平成23年3月31日現在)

防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福野島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等	1	2					1				2	2
	ロ 公会堂、集会場	49	38	6	2	6	1	20	13	4	1	85	55
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	5	1							1	1	6	2
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	ニ カラオケボックス等	2	4									2	4
(3)	イ 待合、料理店の類	2	1	3	3			3	2	1		9	6
	ロ 飲食店	16	4			3	2	1				20	6
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	65	38	14	3	10	7	23	15	6		118	63
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所	12	9			2		5	5	3	1	22	15
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	200	4	28		15		18				261	4
(6)	イ 病院、診療所、助産所	36	22	3	3	2	2	9	6	3	2	53	35
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホー	12	9	5	4			4	4	1	1	22	18
	ハ 老人デイサービスセンター等	24	16	4		2	1	3	2	2		35	19
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類	17	4	6		1	1	6	6	1	1	31	12
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	75	61	12		8	11	30	28	8	8	133	108
(8)	図書館、博物館の類	3	3	1				2				6	3
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の駐車場の類	1										1	
(11)	神社、寺院、教会の類	37	20	8	2	5	2	4		2		56	24
(12)	イ 工場、作業場	254	135	50	20	34	4	90	34	50	29	478	222
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	10	5	1		1	2			1		13	7
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	166	65	34	11	18	2	29	12	14	6	261	96
(15)	前各項に該当しない事業場	163	73	41	11	39	10	58	13	14	8	315	115
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	63	27	7		10	4	19	8	4	1	103	40
	ロ 上記以外の(複)	21	5	2				8	3	3	2	34	10
(17)	重要文化財	1	1	1		1	1					3	2
合 計		1,235	547	226	59	157	50	333	151	118	61	2,069	868

(注) 1. Aは防火対象物数、Bは立入検査実施数。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

消防用設備等の届出・検査済証件数

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

区分	設備名																		
		計	消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	非 常 警 報 設 備 (放 送 設 備)	避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	消 防 用 水	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管
着工届出	57		2	13					26		9		3		4				
設置届出	106	15	2	13				1	35	1	8		5	1	25				
検査済証	106	15	2	11				1	37	1	8		5	1	25				

火災予防条例等に基づく届出状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

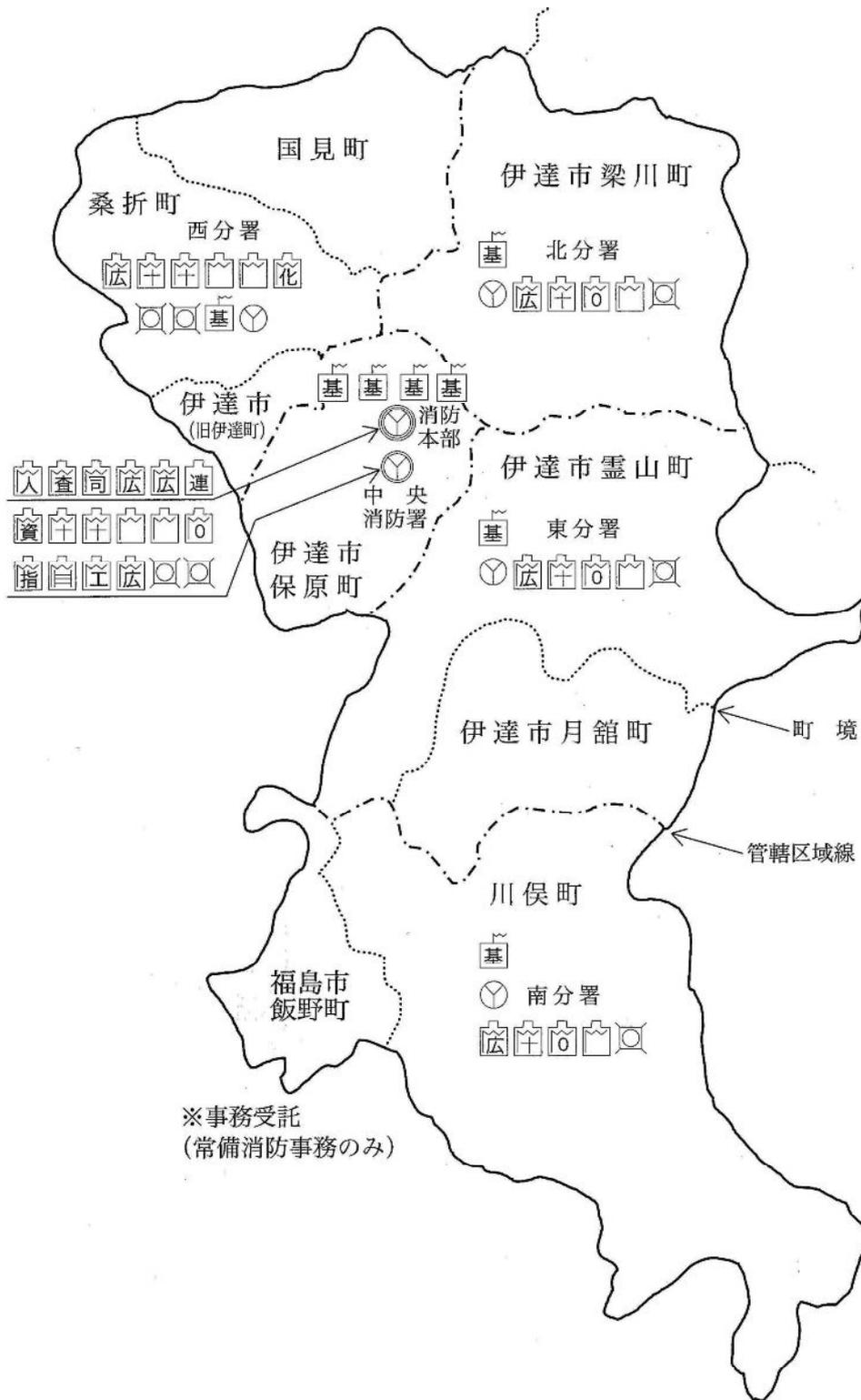
事項		所属	中央	東	西	南	北	計
施行規則	消 防 計 画		46	31	59	40	47	223
危 政 令	圧 縮 ア セ チ レ ン		0	0	0	0	0	0
	無 水 硫 酸		0	0	0	0	0	0
	液 化 石 油 ガ ス		8	2	0	1	0	11
	生 石 灰		0	0	0	0	0	0
	毒 物		0	0	0	0	0	0
	劇 物		2	0	0	0	0	2
火災予防条例								0
使 用 開 始			8	1	9	12	2	32
	炉		0	0	0	0	0	0
	厨 房 設 備		0	0	0	0	0	0
	温 風 暖 房 機		0	0	0	0	0	0
	ボ イ ラ ー		3	1	4	0	3	11
	給 湯 設 備		0	0	0	1	0	1
	乾 燥 設 備		0	0	0	10	0	10
	サ ウ ナ		0	0	0	0	0	0
	ヒ ー ト ポ ン プ 冷 暖 房 機		0	0	0	0	0	0
	火 花 を 生 ず る 設 備		0	0	0	0	0	0
	放 電 加 工 機		0	0	0	0	0	0
	変 電 設 備		4	4	3	5	0	16
	発 電 設 備		1	0	1	0	0	2
	蓄 電 池 設 備		1	4	0	2	0	7
	燃 料 電 池 発 電 設 備		0	0	0	0	0	0
	ネ オ ン 管		1	0	0	0	0	1
	水 素 気 球		0	0	0	0	0	0
	ま ぎ ら わ し い 煙		170	88	233	78	196	765
	煙 火 打 上 げ		17	25	59	116	26	243
	催 物		0	1	1	28	0	30
	断 減 水		0	0	0	5	0	5
	道 路 工 事		117	40	95	22	77	351
	指 定 洞 道 等		0	0	0	0	0	0
	少 量 危 険 物		14	4	10	8	2	38
	指 定 可 燃 物		3	0	0		0	3
	タ ン ク 水 張 検 査		0	0	0	0	0	0
	計		395	201	474	328	353	1,751

警 防



伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図

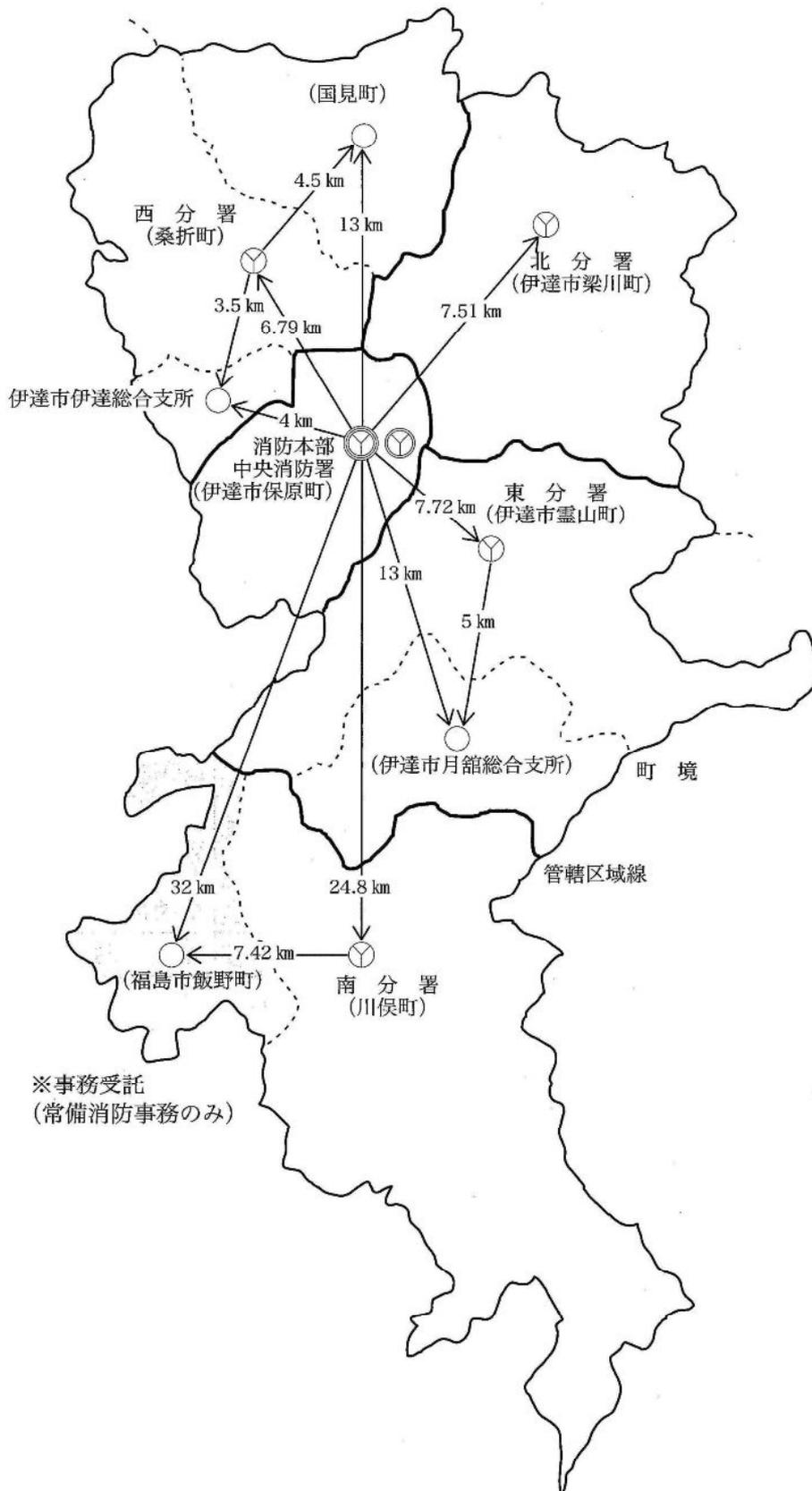
(平成 23 年 4 月 1 日現在)



※事務受託
(常備消防事務のみ)

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	無線基地局
	消防ポンプ自動車 (無線付)
	はしご付消防自動車 (無線付)
	化学消防自動車 (無線付)
	水槽付消防ポンプ 自動車(無線付)
	救助工作車 (無線付)
	救急自動車 (無線付)
	司令車 (無線付)
	査察車 (無線付)
	広報連絡車 (無線付)
	人員資器材搬送車 (無線付)
	指揮兼照明車 (無線付)
	資機材搬送車 (無線付)
	小型動力ポンプ
	連絡車

消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離



※事務受託
(常備消防事務のみ)

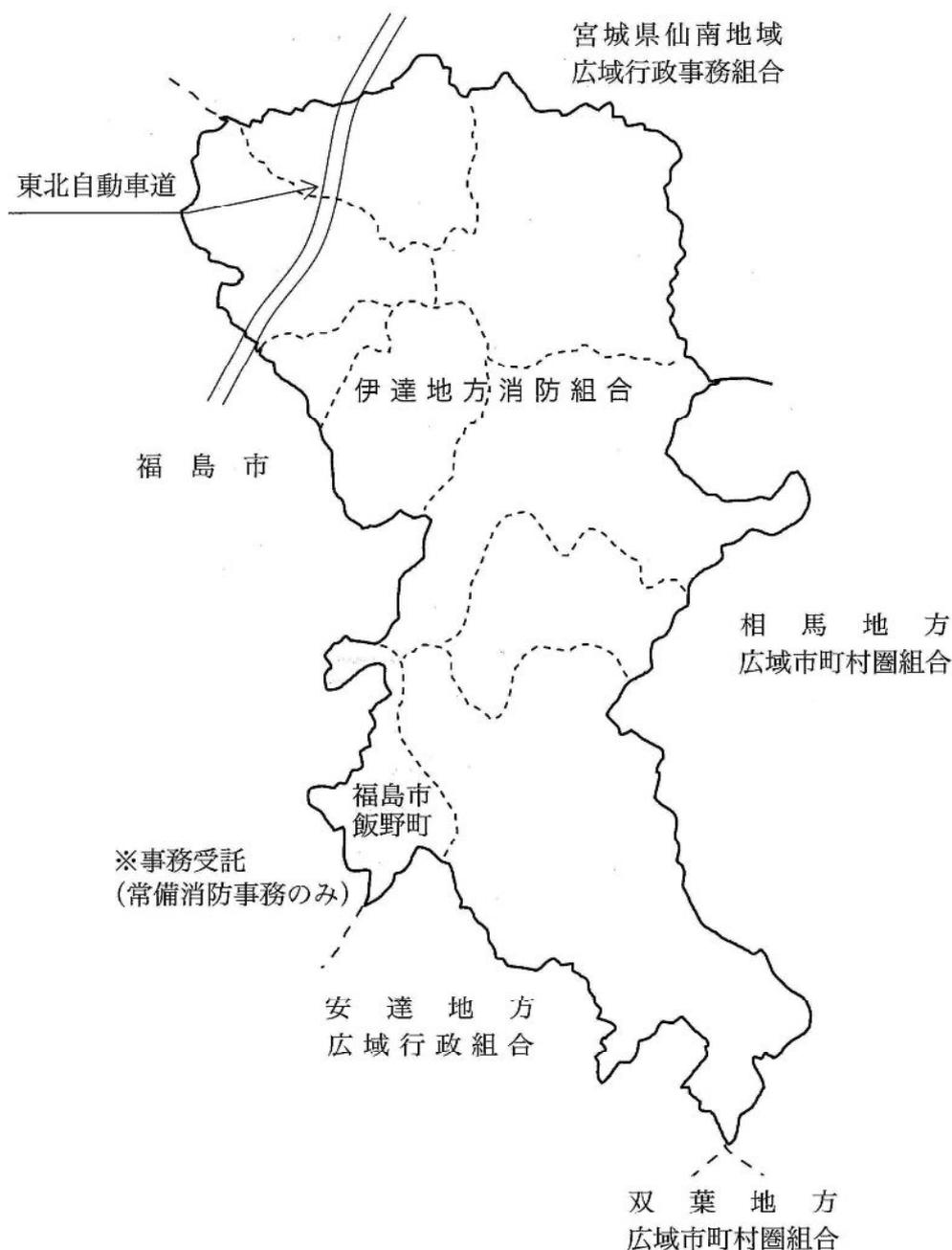
	分署	距離
(中央消防署) 消防本部	東分署	7.72km
	西分署	6.79km
	南分署	24.80km
	北分署	7.51km

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	町境
	管轄区域線

相互応援協定

(火災・救急その他災害相互応援協定)

市町村等名	締結年月日	相互応援協定の内容
福島市	昭和48年9月30日	火災・救急・その他の災害
相馬地方広域市町村圏組合	昭和48年9月1日	〃
安達地方広域行政組合	昭和49年2月1日	〃
宮城県仙南地域広域行政事務組合	昭和50年4月1日	〃 (東北自動車道を含む。)
双葉地方広域市町村圏組合	昭和58年9月1日	〃
東北自動車道1市5組合	平成2年4月1日	東北自動車道上の火災・救急その他の災害
福島県広域消防相互応援協定	平成9年12月26日	福島県内12消防本部 大規模特殊災害
火災原因調査に係る相互応援協定	平成11年12月27日	福島県内12消防本部 火災原因調査



現 勢 消 防 力 調

(平成23年4月1日現在)

面 積	494.94	消	消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	消	機	団 本 部	4
			水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	4			分 団 数	39
人 口	109,726	防	は し ご 付 消 防 自 動 車	1	防	機	団 員 数	2509
			化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1			消 防 ポ ン プ 自 動 車	34
世 帯 数	35,127	防	小 型 動 力 ポ ン プ	8	防	機	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1
			救 助 工 作 車	1			小 型 動 力 ポ ン プ	58
消 防 本 部	1	機	高 規 格 救 急 自 動 車	3	防	機	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	131
			救 急 車	4			消 防 ポ ン プ 自 動 車	34
消 防 署	1	機	司 令 車	1	防	機	消 防 ポ ン プ 自 動 車	34
			査 察 車	1			水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1
分 署	4	機	広 報 連 絡 車 (防 火 広 報 車)	6	防	機	小 型 動 力 ポ ン プ	58
			指 揮 広 報 車	1			小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	131
人 員	153	械	人 員 資 器 材 搬 送 車	1	防	機	消 防 ポ ン プ 自 動 車	34
			事 務 連 絡 車	1			水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1
			指 揮 兼 照 明 車	1			小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	131
			資 機 材 搬 送 車	1				

消 防 水 利 現 状 調

(平成23年4月1日現在)

区分 町別	防 火 水 そ う			消火栓	その他	合計
	20㎡	40㎡	60㎡			
伊 達 市	251	321	26	963	97	1,658
桑 折 町	42	99		194		335
国 見 町	61	49	8	131	5	254
川 俣 町	126	15	1	146		288
合 計	480	484	35	1,434	102	2,535

消 防 車 両 等 の 現 勢 調

(平成23年4月1日現在)

所属 区分	種 別	車両番号	車 名	年 式	総排 気量 (cc)	ポ ン プ 種 別		購 入 年 月 日	経 過 年 数	摘 要
						ポンプ型式	級別			
消 防 本 部	司令車	す 5818	ニッサン ローレル	6	1,990			6. 9.13	16.7	
	査察車	に 613	トヨタ カルディナバン	9	1,490			9. 6.23	13.10	
	人員資器材搬送車	さ 6988	トヨタ ハイエースコンピューター	14	2,980			14. 2. 6	9.2	
	指揮広報車	す 4881	スバル レガシィB4	21	1,990			21. 2.20	2.2	
	防火広報車	す 3759	トヨタ ハイエースバン	19	2,490			19. 8.30	3.8	
	事務連絡車	ち 3469	ホンダ トゥデイ	8	650			8.12.25	14.4	
中 央 消 防 署	救急自動車	す 5429	トヨタ ハイメディック	21	2,690			21.12.16	1.4	
	広報連絡車	に 218	トヨタ カルディナバン	8	1,490			8. 9.20	14.7	
	救急自動車	す 9314	トヨタ ハイメディック	9	3,370			9.12.18	13.4	
	消防ポンプ自動車	す 2807	いすゞ エルフ	4	3,630	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	5. 2.17	18.2	
	消防ポンプ自動車	す 3894	いすゞ エルフ	6	3,630	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	6. 3.10	17.1	
	水槽付消防ポンプ自動車	せ 1318	いすゞ フォワード	10	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	10.10.28	12.6	
	救助工作車	は 121	いすゞ フォワード	13	8,220			13. 1.10	10.3	
	はしご付消防自動車	は 764	日野 プロフィア	23	8,860			23. 3. 8	0.1	
	指揮兼照明車	す 1975	トヨタ ハイエースバン	17	2,490			17.10.31	5.6	
	資機材搬送車	す 5430	トヨタ ダイナ	21	4,000			21.12.16	1.4	
	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	17	182	シバウラ 1段タービン	C-1	17. 5.19	5.11	
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	182	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 7. 9	24.9	
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	182	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 2.24	25.2	
	林野火災高圧ポンプ		クライスラー PL80614	53	134	クライスラー		53. 3.23	33.1	

所属区分	種別	車両番号	車名	年式	総排気量(cc)	ポンプ種別		購入年月日	経過年数	摘要
						ポンプ型式	級別			
東 分 署	広報自動車	に 217	トヨタ カルディナバン	8	1,490			8.9.20	14.7	
	救急自動車	さ 6629	トヨタ アンビュランス	13	3,370			13.11.14	9.5	
	消防ポンプ自動車	す 4875	いすゞ エルフ	21	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21.2.17	2.2	
	水槽付消防ポンプ車	す 5198	いすゞ フォワード	7	7,120	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	7.1.24	16.3	
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21.2.17	2.2	
西 分 署	広報連絡車	さ 6618	ニッサン ADバン	13	1,490			13.11.12	9.5	
	救急自動車	さ 4353	トヨタ アンビュランス	12	3,370			12.11.28	10.5	
	救急自動車	さ 8676	トヨタ アンビュランス	15	3,370			15.3.26	8.1	
	消防ポンプ自動車	す 3895	いすゞ エルフ	6	3,630	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	6.3.10	17.1	
	消防ポンプ自動車	す 7235	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	14.6	
	化学消防ポンプ自動車	は 38	いすゞ フォワード	11	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	11.11.29	11.5	
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	166	シバウラ 1段タービン	C-1	61.2.24	24.2	
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21.8.17	1.8	
南 分 署	広報連絡車	に 1273	トヨタ カルディナバン	11	1,490			11.3.30	12.1	
	救急自動車	す 3989	トヨタ ハイメディック	19	2,690			19.12.17	3.4	
	消防ポンプ自動車	す 7234	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	14.6	
	水槽付消防ポンプ自動車	す 5722	いすゞ フォワード	7	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	7.9.26	15.7	
	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	20	182	シバウラ 1段タービン	C-1	20.10.24	2.6	
北 分 署	広報連絡車	す 1976	ニッサン ADバン	17	1,490			17.10.31	5.6	
	救急自動車	さ 6628	トヨタ アンビュランス	13	3,370			13.11.14	9.5	
	消防ポンプ自動車	す 5528	いすゞ エルフ	22	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	22.2.4	1.2	
	水槽付消防ポンプ自動車	は 678	いすゞ フォワード	21	5,190	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21.2.25	2.2	
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	22	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	22.2.4	1.2	

無線局配置状況調

(平成23年4月1日現在)

局別 署所別	基地局	超 短 波						
		移 動 局				携 帯 局		
		種 別	台	呼 出	台	呼 出	台	呼 出
消 防 本 部		司 令 車	1	だてしょうしれい	1	9	101 102 103 104 105	106 107 108 109
		査 察 車	1	"	2			
		人 員 資 器 材 搬 送 車	1	"	3			
		指 揮 広 報 車	1	"	4			
		防 火 広 報 車	1	"	5			
中 央 消 防 署	第1 第2 第3 第4	救 急 自 動 車	2	だてきゅうきゅう	1	19	111 112 113 114 115 116 117 118 119 120	121 122 123 124 125 126 127 201 202
		広 報 連 絡 車	1	だてしょうちゅうおう	11			
		救 急 自 動 車	1	"	12			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	13			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	14			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	15			
		救 助 工 作 車	1	"	16			
		は し ご 付 消 防 自 動 車	1	"	17			
		指 揮 兼 照 明 車	1	"	18			
資 機 材 搬 送 車	1	"	19					
東 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうひがし	31	7	131 132 133 134 135 136	137
		救 急 自 動 車	1	"	32			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	33			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	34			
西 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうにし	41	8	141 142 143 144 145 146 147 148	
		救 急 自 動 車	2	"	42			
		救 急 自 動 車	1	"	43			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	44			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	45			
		化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	46			
南 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうみなみ	51	5	152 153 154 155 156	
		救 急 自 動 車	1	"	52			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	53			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	54			
北 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうきた	61	6	161 162 163 164 165 166	
		救 急 自 動 車	1	"	62			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	63			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	64			
合 計	8		35			54		

消防機器材の現有状況

(平成23年4月1日現在)

種別	区分	区分							性能・型式
		合計	本部	中央	東	西	南	北	
警	中継用布水槽	5		1	1	1	1	1	マリーンA500
	放水銃座	5		1	1	1	1	1	TSWG1.3型
	背負い式散放水器	78		13	18	21	16	10	181型
	簡易発泡器	5		1	1	1	1	1	
	ロータリー管そう	13		4	2	3	2	2	
	消火栓立上媒介金具	15		3	3	4	3	2	
	二又分岐金具	12		3	2	3	2	2	
	三連梯子	12		4	2	2	2	2	
	二連梯子	7		2	1	2	1	1	
	平梯子	6		2	1	1	1	1	カギ付
	大かぎ付単梯子	2		2					KHFL-31
	エンジンカッター	5		1	1	1	1	1	パートナー、K-12D
	ボルトカッター	15	2	4	2	3	2	2	10m/m、5m/m
	携帯投光器	6		2	1	1	1	1	
	空気呼吸器	64		33	6	13	6	6	ライフゼム
	酸素呼吸器	5		5					"
	空気ボンベ	185		145	10	10	10	10	
	耐熱服	13		7	2	0	2	2	4型
	トランジスターメガホン	20	3	9	2	2	2	2	
	ホースブリッジ	21		5	4	4	4	4	50・60mm兼用型S-330-W
東消式フォグガン	10		2	2	2	2	2	T-200	
オイルフェンス	15		3	3	3	3	3	10m	
携帯発電機	25	1	12	3	4	3	2	ホンダ	
耐電・絶縁用具一式	9	1	8						
林野火災用高圧ポンプ	1		1					ウォータールート350NS一式	
訓練用人形	1		1					ダミー	
泡ノズル	6		1	1	2	1	1	ピックアップ式RP-200	
エアートナー式	1		1					アキレスA-45	
救	心肺蘇生用訓練器	9		9					レールダル社
	心肺蘇生用背板	7		2	1	2	1	1	
	電池式呼吸器	8		2	1	2	2	1	レールダル社
	酸素ボンベ	145		125	4	8	4	4	
	保安点滅灯	10	2	3	1	2	1	1	電池式
	夜光安全チョッキ	50	4	12	4	18	8	4	
	血圧計	8		3	1	2	1	1	アナロイド型血圧計大人用ポケット型
	シヨックパンツ	7		2	1	2	1	1	米国デービットクラーク社製
	喉頭鏡	8		3	1	2	1	1	マッキントッシュ型
	異物除去用鉗子	8		3	1	2	1	1	マギール鉗子
急	気道管理トレーナ	5		1	1	1	1	1	レールダル社製
	自動式心マッサージ器	5		2	1	1	1		サンパー心肺蘇生装置
	救急車室内紫外線殺菌装置	1		1					
	血中酸素飽和濃度測定器	7		1	1	2	2	1	ネルコア N-20 P
	AED トレーナ	11		11					

種別	区分	合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式	
救	バ ッ ク ボ ー ト	7		1	1	2	2	1		
	ガ ス 滅 菌 器	1		1						
	人 工 蘇 生 器	12		3	2	3	2	2		
	リ ン グ カ ッ タ ー	5		1	1	1	1	1		
	心 電 計	5		1	1	1	1	1		
	除 細 動 器	7		1	1	2	2	1		
	輸 液 セ ッ ト	5		1	1	1	1	1		
	気 道 確 保 チ ュ ー プ	5		1	1	1	1	1		
	タ ー ポ リ ン 担 架	7		2	1	2	1	1		
	高度救急処置シミュレーター	1		1						
急	輸 液 訓 練 用 モ デ ル	5		1	1	1	1	1		
	殺 菌 ロ ッ カ ー	5		1	1	1	1	1		
	救 急 技 術 教 育 ビ デ オ	1		1					一式	
	特 定 行 為 専 用 バ ッ ク セ ッ ト	2		1		1				
救	防 爆 型 携 帯 電 灯	6		6					JL 05104	
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1		1					ソフトランディング、SL-40	
	レ ン ジ ャ ー 担 架	6		4		1	1		平、舟型、T I スプリット、スケッド	
	簡 易 担 架	18	2	3	3	3	4	3		
	救 命 索 発 射 銃	2		2					ミクロM-3	
	救 命 索 発 射 装 置	1		1					レスキューショット	
	空 気 式 救 助 バ ッ グ	4		4					マイティーバック一式	
	安 全 マ ッ ト	2		2						
	安 全 ネ ッ ト	1		1					DR式	
	張 力 計	3		3					YR-100	
	柱 上 安 全 帯	6		6					73D、R455、R425、5B	
	大 型 油 圧 救 助 器 具	1		1					ルーカス	
	充 電 式 油 圧 救 助 器 具	2		2					オグラ	
	チ ェ ー ン ブ ロ ッ ク	1		1					3t	
	チ ル ホ ー ル	6		5			1		T-7、TU-16、T-35	
	チ ェ ー ン ソ ー	7		3	1	1	1	1	マッカラー、スチール	
	エ ア ソ ー	2		2					タイガー	
	携 帯 用 エ ア ツ ー ル	2		2					Aセット、Bセット	
	ガ ス 遮 断 機	1		1					ニューチョパック	
	ポ ー ト パ ワ ー	2				2				
	削 岩 機	1		1					ピコ14	
	フ ァ イ バ ー ス コ ー プ	1		1					カールシーカーMY-400	
	救 助 用 ポ ー ト	2		2					アキレスSU-14、アキレスSE365	
	救 助 ポ ー ト 用 船 外 機	2		2					ホンダBF9.9AMLJ、ヤマハ20CM	
	助	救 命 胴 衣	61		25	9	9	9	9	KSK1~3、ライフジャケット
		救 命 浮 環	18		4	3	4	4	3	
		か ぎ 付 は し ご	1		1					KHFL-CT
ワ イ ヤ ー は し ご		1		1					ケーピングラダー-11m	
マンホール救助器具		1		1					ロールグリスMR-110	
携帯用コンクリート破壊器具		1		1					ストライカーTR-800	
防 毒 マ ス ク		5		5					GM-164有機缶付き	
携 帯 警 報 器		10		10					レスキューコール	
放射線防護服（個人線量計含）		3		3					NUK-500	

種別	区分	区分							性能・型式
		合計	本部	中央	東	西	南	北	
救	放射線測定器	1		1					レムガードRD-2E
	吊り上げ救助器具	1		1					4ポイントブラインドロー式
	送排風機	1		1					RFE-282Y
	防塵マスク	5		5					DR-165-6
	帯電服	5		5					YS-121
	帯電ズボン	5		5					YS122
	防毒衣	3		3					RS-11000
	緩降機	1		1					スローダウン20m
助	口 - ブ 登 降 機	3		3					ASCENSION B07R
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1		1					CT101 CB
予	煙体験用資器材	1	1						体験ハウス、発煙機、発電機
	映写機	3	2	1					ホクシン16m/m・液晶VIP400
	投影機	3	3						プラス。OHP CX-500
	ビデオ装置	6	1	1	1	1	1	1	NV-H230G
	カメラ	12	2	2	2	2	2	2	
	インスタントカメラ	7	1	2	1	1	1	1	F-50 S
	テープレコーダー	11	1	2	2	2	2	2	
	自記温湿度計	1		1					シグマ 型
	スクリーン	3	1	2					プラスKSV-80
	映画フィルム	27	27						
	騒音計	1	1						OS-11
	電子テスター	1	1						日置
	漏電遮断機テスター	2	2						"
	自動接地抵抗計	1	1						ナショナル
	ガス検知器	7	1	1	1	2	1	1	XP305・他に北側式(5)
	放水圧力測定器	3	3						40用E-1、65用E-2
	引火点試験器	2	2						タグ密閉式、クリソライト'開放式
	膜厚計	3	3						SL-F20型・SM-1500 D
防	加熱試験器	1	1						HK3
	メジャーポール	5		1	1	1	1	1	8段6m
そ	訓練用水消火器	41		13	7	7	7	7	
	エアークンプレッサー	5		1	1	1	1	1	
	ガレージジャッキ	5		1	1	1	1	1	10t、5t、3t
	サービスキット	5		1	1	1	1	1	
	リジットラック	10		2	2	2	2	2	5t用
	洗車機	5		1	1	1	1	1	
	エアインパクトレンチ	1		1					空研KW-14HP
	電気ドリル	1		1					
	電気ディスクグラインダー	1		1					
	電気丸のこ	1		1					
の	コンビネーションガス測定器	7		7					
	空気充填用コンプレッサー	1		1					AVC14型
	充電器	6		1	1	1	1	2	
	エアークラスセット	1		1					いわたW71-3S
	エレクトロツールセット	7	1	2	1	1	1	1	宝山S-10
他									

救 助 統 計



事故種別出場件数活動件数調

(平成22年中)

件数区分	事故種別		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
	火	災									
	建物	建物 以外									
出 場 件 数	2		56	3	1	7	1	3		6	79
活 動 件 数	2		13	2		2	1			3	23

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別車両別救出者搬送人員調

(平成22年中)

件数区分	事故種別		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
	火	災									
	建物	建物 以外									
救 急 自 動 車	2		13			2				2	19
消防機関のその他の車両等											
消防機関以外の車両等	1		2							1	4
計	3		15			2				3	23

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救出者の搬送方法を記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場人員活動人員調

(平成22年中)

事故種別 件数区分		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外										
出 場 人 員	専任救急隊員												
	兼任救助隊員	6		215	12	5	30	4	13		23	308	
	消 防 隊 員	44		93	18	4	22	5	11		9	206	
	救 急 隊 員	9		258	10		21		3		19	320	
	消 防 団 員												
	計	59		566	40	9	73	9	27			51	834
活 動 人 員	専任救急隊員												
	兼任救助隊員	6		44	8		10				10	78	
	消 防 隊 員	34		24	12		7	5			5	87	
	救 急 隊 員	9		67	7		6				10	99	
	消 防 団 員												
	計	49		135	27		23	5				25	264

(注) 1. 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した人員及び活動した人員を記載する。
 2. 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場車両及び活動車両等台数調

(平成 22 年中)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外									
出 場 車 両 等	救 助 工 作 車	2 (2)		55 (11)	3 (2)	1	7 (2)	1	3		6 (2)	78 (19)
	ポ ン プ 自 動 車	10 (7)		21 (6)	3 (2)	1	5 (2)	2 (2)	1		2 (2)	45 (21)
	屈折はしご車・はしご車											
	化 学 車	2 (2)		2			1		1			6 (2)
	指 揮 車 ・ 司 令 車	3 (3)		11 (3)	2 (2)		3 (1)		2		1	22 (9)
	救 急 車	3 (3)		82 (22)	3 (2)		7 (2)		1		6 (3)	102 (32)
	船 舶											
	ヘリコプター											
	そ の 他			1	2 (1)							1
消 防 団 車 両												
計		20 (17)		172 (42)	13 (9)	2	23 (7)	3 (2)	8		16 (7)	257 (84)

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した車両等のうち実際に活動した車両等の台数について記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

3 ()は、活動車両

事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調

(平成 22 年中)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水 害等 自然 災害	機 械 による 事故	建物 等による 事故	ガス及 び酸 欠事 故	爆発 事故	その 他の 事故	計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	2 (2)						1 (1)	1			4 (3)
	そ の 他 の 屋 内						2					2
屋 外	道 路	高 速 道 路		7 (1)								7 (1)
		そ の 他 の 道 路		46 (10)							1	47 (10)
	水 面	内 水 面				3 (2)					1	4 (2)
		外 水 面										
	山 岳											
	そ の 他 の 屋 外			3 (2)		1	5 (2)		2		4 (3)	15 (7)
地 下												
そ の 他												
計		2 (2)		56 (13)	3 (2)	1	7 (2)	1 (1)	3		6 (3)	79 (23)

(注)1 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

2 ()は、活動件数

事故種別発生場所別救助人員調

(平成 22 年中)

70 事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水 害等 自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス及 び酸 欠事 故	爆発 事故	その他 の事 故	計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	3						1				4
	その他の屋内											
屋 外	道 路	高 速 道 路 国 道		2								2
		その他の道路		12								12
	水 面	内 水 面				2						2
		外 水 面										
	山 岳											
その他の屋外			2				2				3	7
地 下												
そ の 他												
計		3		16	2		2	1			3	27

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

救 急 統 計



平成 22 年救急活動の概要

1 救急出場状況

救急出場件数は、4,204 件で、前年よりも 310 件(8%)増加し、搬送人員は 4,060 人で前年よりも 350 人(9.4%)増加している。

これは、組合発足以降最も多いもので、増加の要因は高齢者の搬送及び熱中症の救急要請が多かったためである。

1 日平均出場件数は 11.5 件で、前年よりやや増加している。

伊達消防本部管内では、約 27.9 人に 1 人の割合で救急車を利用したことになる。

2 月別出場件数

月別の救急出場状況は 7 月の 446 件が最も多く、次いで 8 月の 425 件となっている。

また、月平均出場件数は 350.3 件(前年比 25.8 件増、7.9%増)で、月平均搬送人員は 338.3 人(前年比 29.1 人増、9.4%増)となっている。

3 市町別出場状況

市町別出場件数では、伊達市(旧伊達、保原、梁川、霊山、月舘町)が 2,492 件(前年比 230 件増、10.2%増)と最も多く、次いで川俣町の 664 件(前年比 58 件増、9.6%増)、桑折町 470 件(前年比 50 件増、11.9%増)の順となっている。

4 事故種別出場状況

事故種別では、急病の出場件数が 2,798 件(前年比 191 件増、7.3%増)で最も多く、全体の 66.6%を占めている。次いで一般負傷 540 件(前年比 29 件増、5.7%増)全体の 12.8%、転院搬送 392 件(前年比 37 件増、10.4%増)全体の 9.3%、交通事故 324 件(前年比 24 件増、8%増)全体の 7.7%の順となっている。

5 医療機関別搬送状況

搬送人員の 52.8%にあたる 2,142 人(前年比 268 人増、14.3%増)が管内の医療機関に搬送され、47.2%にあたる 1,918 人(前年比 82 人増、4.5%増)が管外の医療機関に搬送されている。

6 高速道路(東北自動車道)への出場状況

東北自動車道への出場状況は、32 件(前年比 5 件減、13.5%減)、搬送人員は 35 人(前年比 5 人減、12.5%減)となっている。特に交通事故による出場件数は、17 件(前年比 2 件増、13.3%増)で、全体の 53.1%を占めており、急病は 14 件(前年比 3 件減、17.6%減)で、全体の 43.7%となっている。

市町別・月別救急出場状況

(平成22年12月31日現在)

市町名	区分	月別												合計 (A)	前年 (B)	増減数 A-B (C)	増減率 % C/B×100		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
伊達市	旧伊達町	出場件数	41	39	32	32	35	40	48	45	42	33	34	43	464	404	60	14.85	
		搬送人員	40	39	34	33	33	41	47	41	41	32	33	42	456	380	76	20.00	
	旧梁川町	出場件数	48	45	46	45	45	56	83	73	44	42	51	46	624	578	46	7.96	
		搬送人員	48	38	43	42	45	56	82	73	43	39	47	44	600	553	47	8.50	
	旧保原町	出場件数	62	62	69	67	61	65	104	86	58	55	71	81	841	756	85	11.24	
		搬送人員	58	60	62	65	56	60	99	82	55	51	68	78	794	726	68	9.37	
	旧霊山町	出場件数	43	24	54	28	35	18	32	46	23	25	38	38	404	355	49	13.80	
		搬送人員	42	21	53	27	35	19	34	45	22	26	36	37	397	336	61	18.15	
	旧月舘町	出場件数	14	15	13	12	14	14	10	19	16	9	12	11	159	169	10	5.92	
		搬送人員	12	15	12	12	14	13	10	18	16	8	11	9	150	167	17	10.18	
	小計	出場件数	208	185	214	184	190	193	277	269	183	164	206	219	2,492	2,262	230	10.17	
		搬送人員	200	173	204	179	183	189	272	259	177	156	195	210	2,397	2,162	235	10.87	
	伊達郡	桑折町	出場件数	43	39	30	41	44	41	58 (1)	41 (1)	29	37	33 (1)	34 (1)	470 (4)	420 (8)	50 4	11.90
			搬送人員	41	37	29	44	43	40	56 (2)	40 (2)	30	35	32 (1)	33 (1)	460 (4)	407 (11)	53 7	13.02
国見町		出場件数	27	28 (3)	27 (1)	47 (1)	27 (2)	23	28 (1)	26 (4)	26 (4)	23	22	31	335 (16)	343 (20)	8 4	2.33	
		搬送人員	29	27 (2)	27 (1)	44 (1)	27 (2)	22	24 (1)	25 (4)	25 (3)	23	23	31	327 (14)	326 (19)	1 5	0.31	
川俣町		出場件数	55	43	57	48	56	62	65	72	51	56	39	60	664	576	88	15.28	
		搬送人員	53	42	55	50	52	59	64	69	51	51	38	57	641	572	69	12.06	
福島市	飯野町	出場件数	23	17	17	12	22	19	16	13	13	7	22	19	200	215	15	6.98	
		搬送人員	22	15	15	12	20	17	17	13	13	7	19	17	187	197	10	5.08	
その他	その他	出場件数	3	5 (2)	3	3	2	1	2	4 (1)	6 (3)	4 (1)	7 (5)	3	43 (12)	48 (9)	5 3	10.42	
		搬送人員	3	5 (2)	3	3	2	1	2	4 (1)	6 (3)	4 (1)	12 (10)	3	48 (17)	46 (10)	2 7	4.35	
合計	合計	出場件数	359	317 (5)	348 (1)	335 (1)	341 (2)	339	446 (2)	425 (6)	308 (7)	291 (1)	329 (6)	366 (1)	4,204 (32)	3,864 (37)	340	8.80	
		搬送人員	348	299 (4)	333 (1)	332 (1)	327 (2)	328	435 (1)	410 (7)	302 (6)	276 (1)	319 (11)	351 (1)	4,060 (35)	3,710 (40)	350	9.43	

()は、東北自動車道への出場状況

市町別・事故種別救急出場状況

(平成22年12月31日現在)

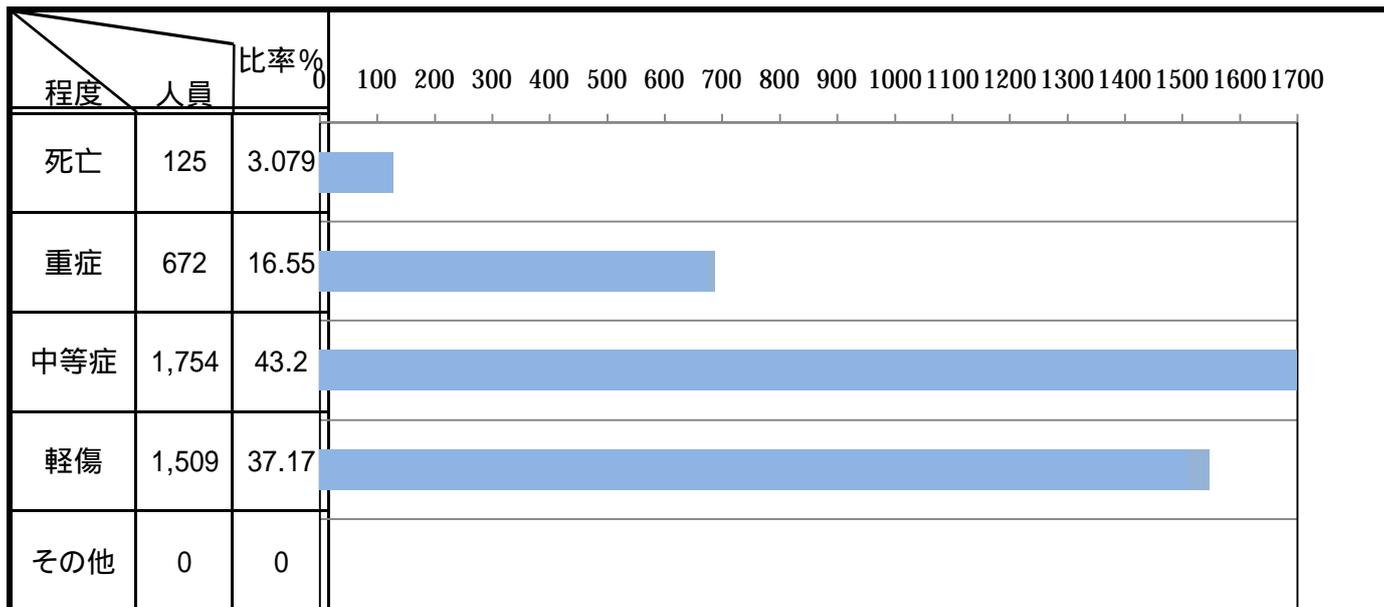
事故種別 市町名		区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
													転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	
伊達市	旧伊達町	出場件数	3			37	4	1	56	2	7	278	76				464
		搬送人員	3			39	4	1	51	1	5	276	76				456
	旧梁川町	出場件数				40	4	4	93	2	10	445	26				624
		搬送人員				42	4	5	88	2	8	425	26				600
	旧保原町	出場件数	2			85	3	18	88	2	5	540	96			2	841
		搬送人員	2			82	3	17	86	2	5	501	96				794
	旧靈山町	出場件数				26	2	1	64		4	281	26				404
		搬送人員				33	2	1	62		4	269	26				397
	旧月館町	出場件数	1			7	2	1	23		1	121	3				159
		搬送人員	1			7	2	1	20			116	3				150
	小計	出場件数	6			195	15	25	324	6	27	1665	227			2	2,492
		搬送人員	6			203	15	25	307	5	22	1587	227				2,397
	伊達郡	桑折町	出場件数			32 (3)	6	8	68	1	5	340 (1)	10				470 (4)
			搬送人員			38 (3)	6	8	65	1	4	328 (1)	10				460 (4)
国見町		出場件数			24 (4)	1	3	37 (1)		3	212 (11)	54			1	335 (16)	
		搬送人員			27 (3)	1	3	36 (1)		1	205 (10)	53			1	327 (14)	
川俣町		出場件数	2		1	42	7	9	85		6	427	81	1		4	664
		搬送人員	2			43	7	10	81		5	412	81				641
福島市	飯野町	出場件数	1		1	18	1	25	1	5	125	20			3	200	
		搬送人員				19	1	24	1	4	118	20				187	
その他	出場件数				13 (10)			1			29 (2)					43 (12)	
	搬送人員				18 (15)			1			29 (2)					48 (17)	
合計	出場件数	9		1	324 (17)	30	45	540 (1)	8	46	2798 (14)	392	1		10	4,204 (32)	
	搬送人員	8			348 (21)	30	46	514 (1)	7	36	2679 (13)	391			1	4,060 (35)	

()は、東北自動車道への出場状況

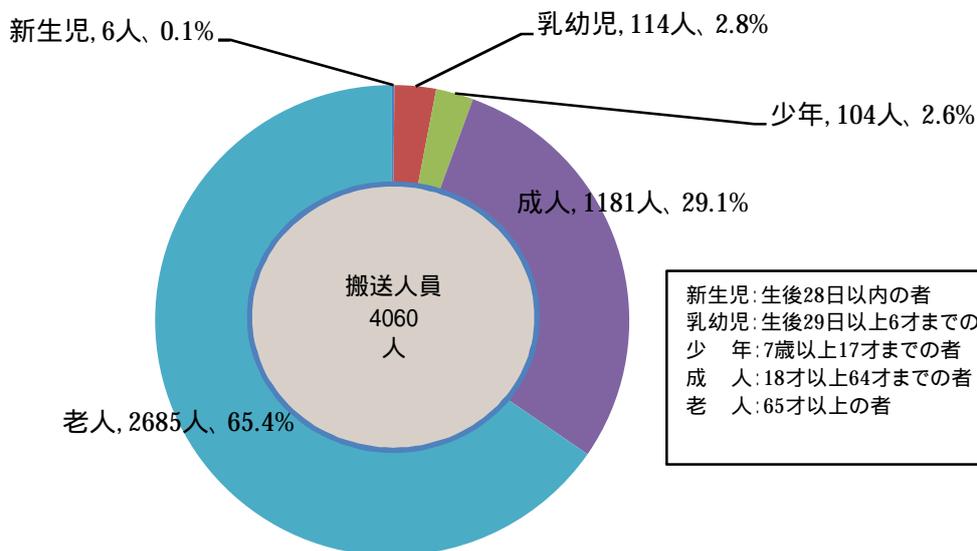
事故種別救急出場状況（前年比較）

区 分		平成22年 (A)	平成21年 (B)	増減数 (C)=(A) - (B)	増減率(100%) (C) / (B) × 100
火災	出場件数	9	4	5	125.0
	搬送人員	8	3	5	166.7
自然災害	出場件数				
	搬送人員				
水難	出場件数	1			
	搬送人員				
交通	出場件数	324	300	24	8.0
	搬送人員	348	326	22	6.7
労働災害	出場件数	30	27	3	11.1
	搬送人員	30	27	3	11.1
運動競技	出場件数	45	12	33	275.0
	搬送人員	46	14	32	228.6
一般負傷	出場件数	540	511	29	5.7
	搬送人員	514	494	20	4.0
加害	出場件数	8	9	△ 1	△ 11.1
	搬送人員	7	5	2	40.0
自損行為	出場件数	46	45	1	2.2
	搬送人員	36	24	12	50.0
急病	出場件数	2,798	2,607	191	7.3
	搬送人員	2,679	2,462	217	8.8
その他	出場件数	403	379	24	6.3
	搬送人員	392	355	37	10.4
合 計	出場件数	4,204	3,894	310	8.0
	搬送人員	4,060	3,710	350	9.4

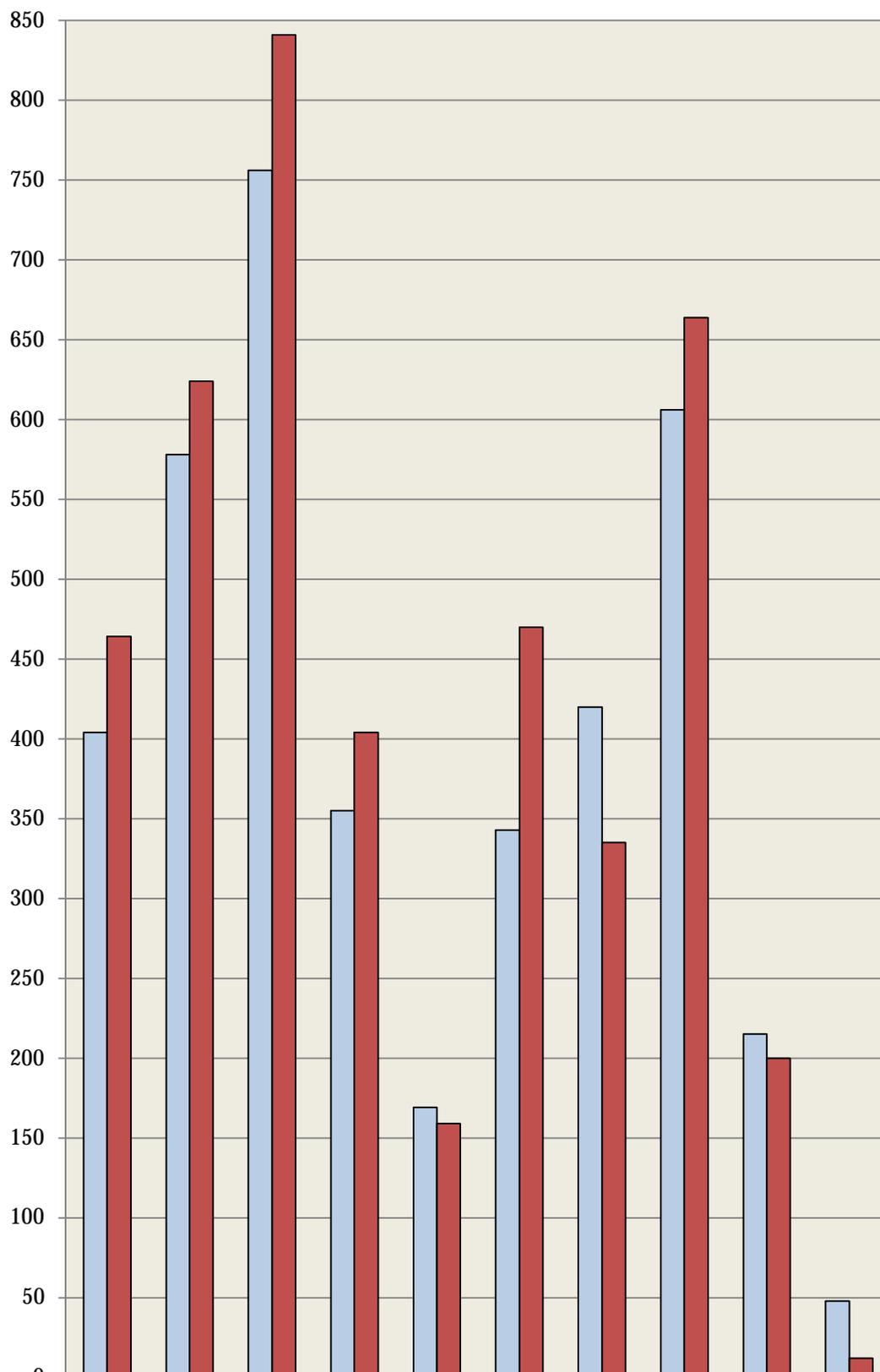
搬送人員傷病程度別分類状況



搬送人員年齢別比率



市町別救急出場状況(前年比較)

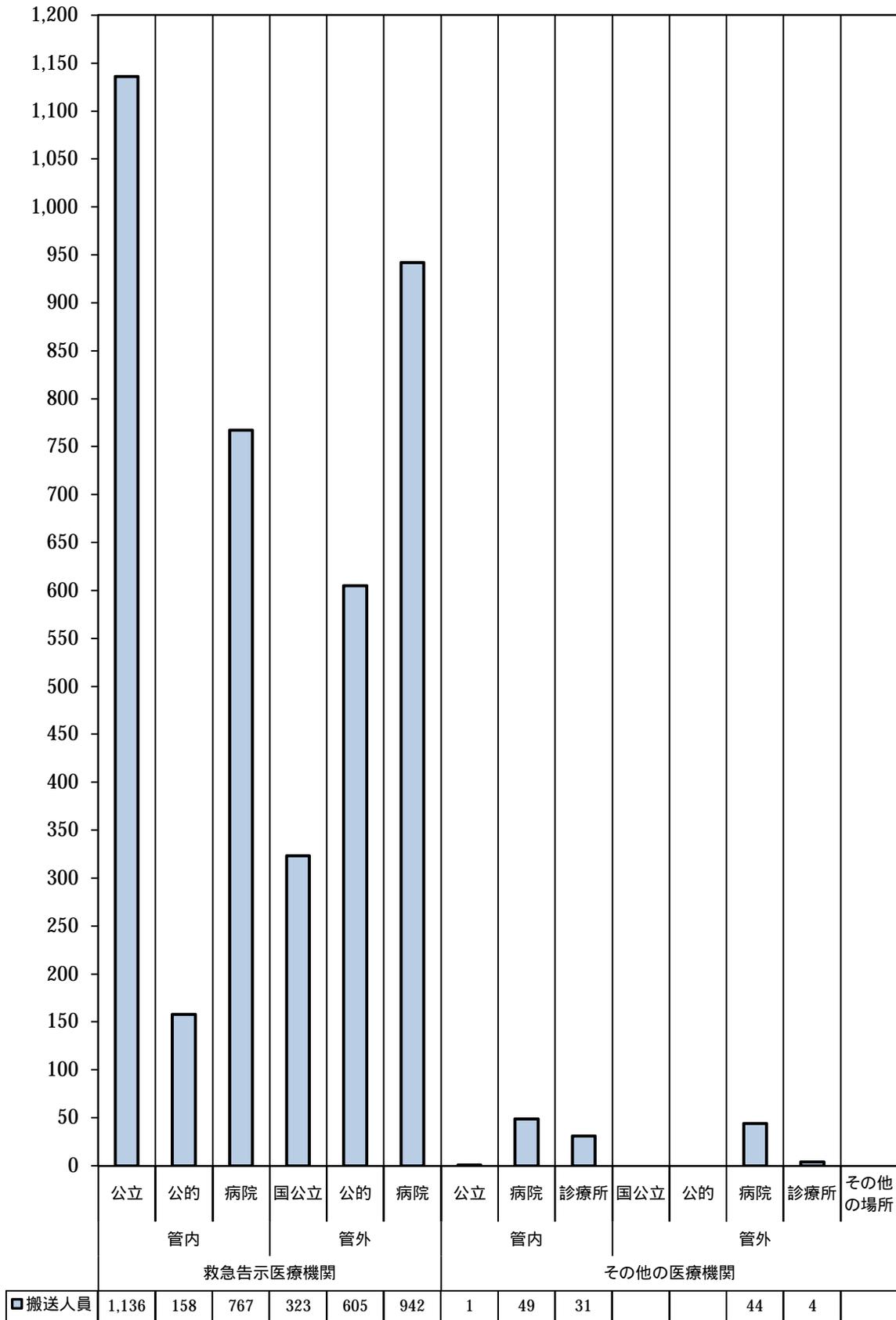


	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町	国見町	桑折町	川俣町	福島市飯野町	その他
平成21年	404	578	756	355	169	343	420	606	215	48
平成22年	464	624	841	404	159	470	335	664	200	12

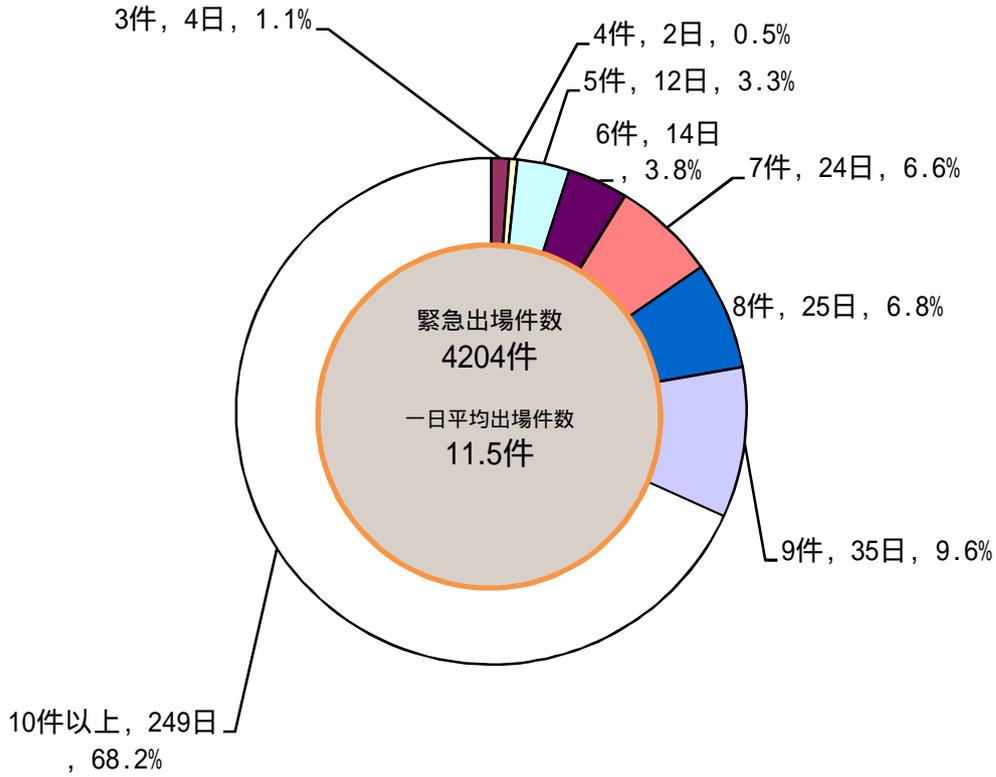
急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

区分	循環器系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	計	
	脳疾患	心疾患										
新生児	死亡											
	重症								1		1	
	中等症								1		1	
	軽症			1							1	
	その他											
	計			1					2		3	
乳幼児	死亡											
	重症									1	1	
	中等症			1	4		2			17	24	
	軽症			4	6		2		3	30	45	
	その他											
	計			5	10		4		3	48	70	
少年	死亡								1		1	
	重症											
	中等症			4	2		7	2	1	2	18	
	軽症			5	1			3	5	7	21	
	その他											
	計			9	3		7	5	7	9	40	
成人	死亡		4					1	2		7	
	重症	31	13	5	4	1	1	2	2	5	64	
	中等症	16	16	42	22	8	22	10	5	37	48	226
	軽症	3	33	44	17	62	27	29	4	64	73	356
	その他											
	計	50	66	91	43	71	50	41	12	108	121	653
老人	死亡	2	56	2	8			1	3	22	7	101
	重症	129	58	13	49		3	3	11	35	17	318
	中等症	94	98	127	230	9	31	38	17	150	189	983
	軽症	41	59	56	38	21	25	17	4	113	137	511
	その他											
	計	266	271	198	325	30	59	59	35	320	350	1,913
合計	死亡	2	60	2	8			1	4	25	7	109
	重症	160	71	18	53	1	4	5	13	41	18	384
	中等症	110	114	174	258	17	62	50	22	189	256	1,252
	軽症	44	92	110	62	83	54	49	8	185	247	934
	その他											
	計	316	337	304	381	101	120	105	47	440	528	2,679

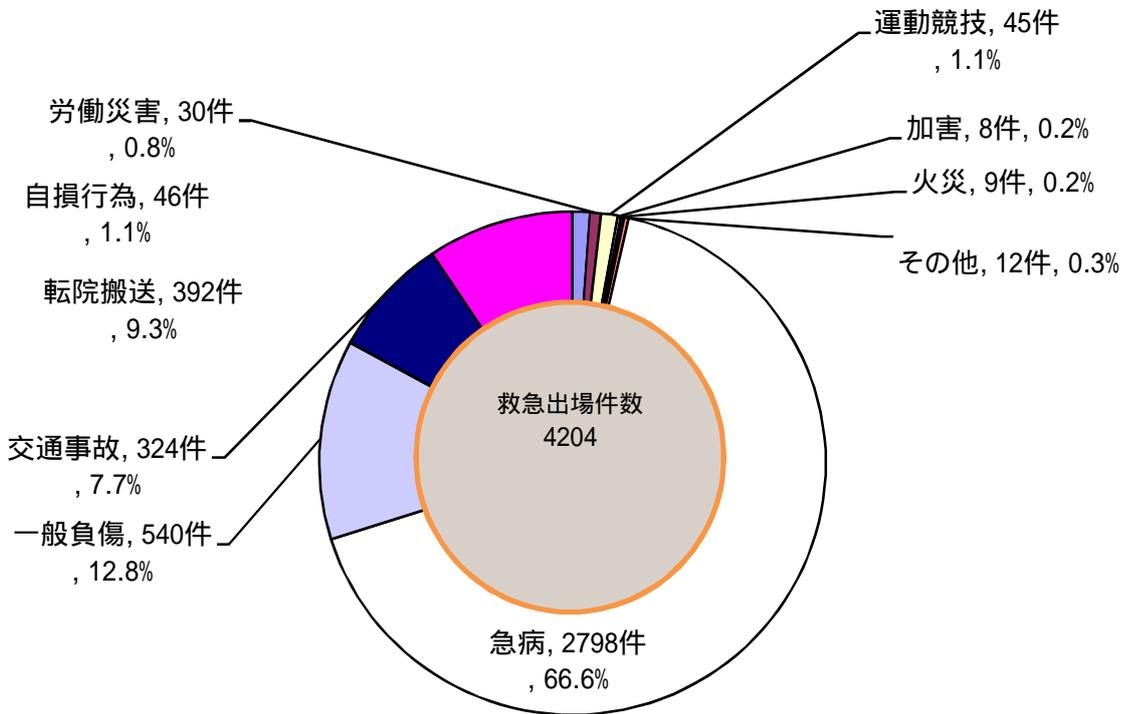
医療機関別搬送状況



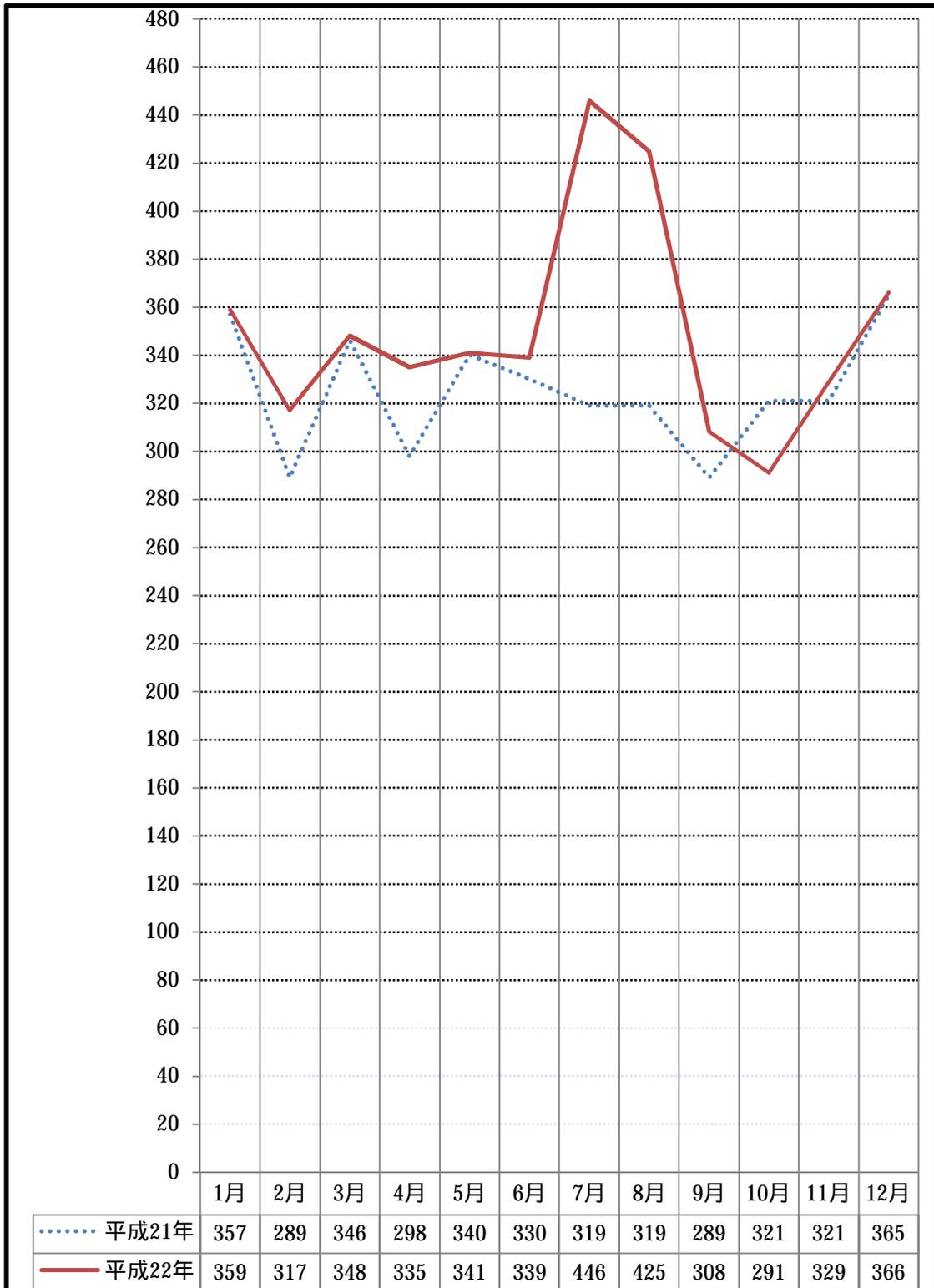
一日の救急出場件数比率



事故種別救急出場件数比率



月別出場件数(前年比較)



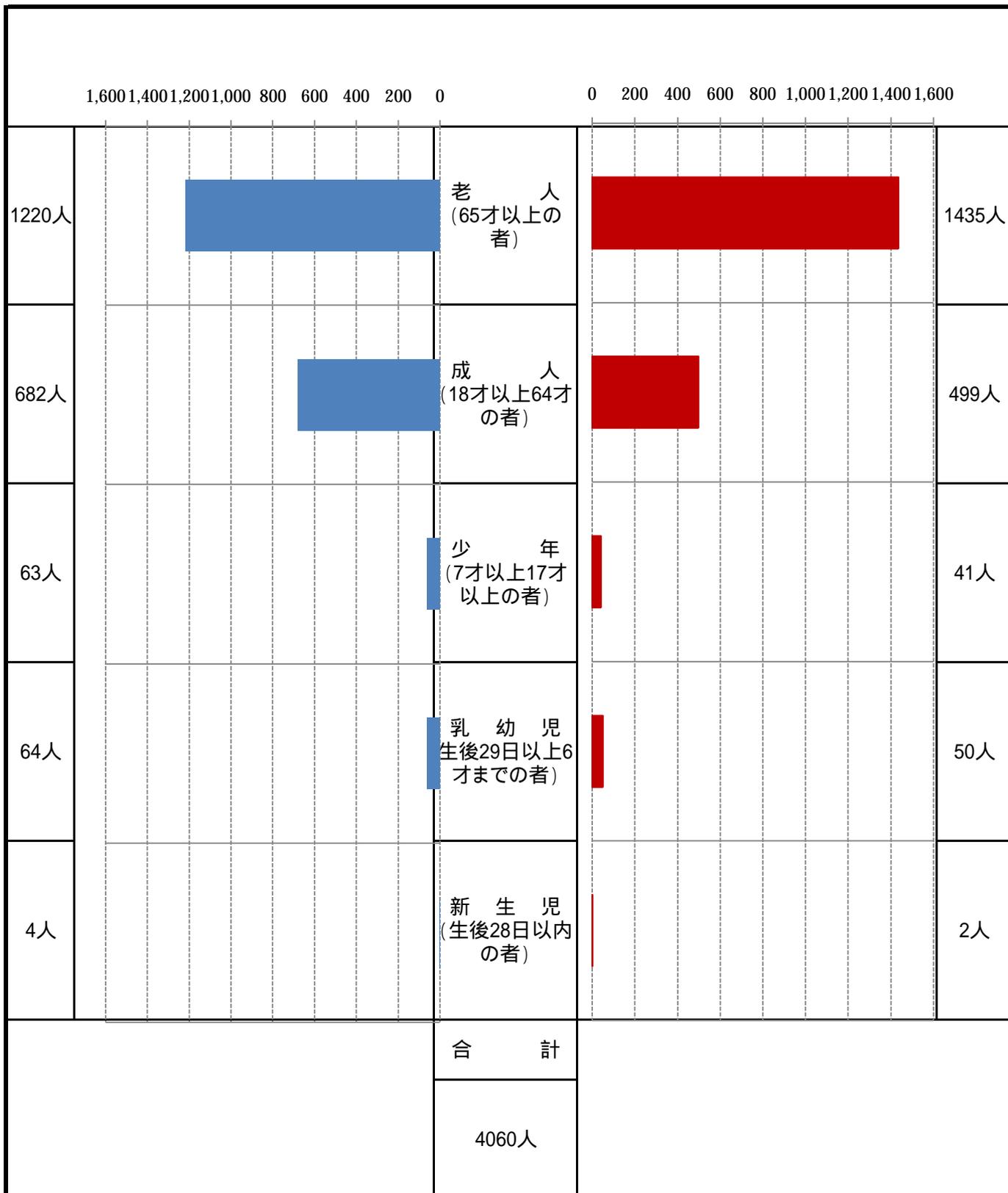
事故種別・時間別救急出場状況

区 分	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計	
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他		
合 計	9		1	324	30	45	540	8	46	2,798	392	1		10	4,204	
時 間 別 内 訳	0～2			2			16	1	4	125	8			3	159	
	2～4			7	2		10			99	3			1	122	
	4～6			5	1		9		2	113					130	
	6～8			27		1	41		3	236	5	1			314	
	8～10			50	5	2	74	1	5	314	44				495	
	10～12	1		42	4	15	64	2	3	278	92			1	502	
	12～14	1		34	6	11	58		6	295	74				485	
	14～16	1		1	54	5	8	67	1	8	303	66			1	515
	16～18	2			47	4	2	70	1	6	270	58			1	461
	18～20	4			33	1	4	64		3	300	22				431
	20～22				17	2	2	44		5	271	17				358
	22～24				6			23	2	1	194	3			3	232

性別・年齢別搬送人員状況

(男 2033人)

(女 2027人)



過去5年間の事故種別救急出場状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成18年	出場件数	4058	3		1	364	44	23	499	20	50	2608	446
	搬送人員	3896	2		1	373	42	22	496	17	37	2485	421
平成19年	出場件数	4021	3	2	1	333	28	16	486	12	28	2700	412
	搬送人員	3867	3	2		354	26	16	473	10	16	2568	399
平成20年	出場件数	3814	4			326	22	27	495	10	49	2489	392
	搬送人員	3632	2			323	22	28	474	9	34	2365	375
平成21年	出場件数	3894	4			300	27	12	511	9	45	2607	379
	搬送人員	3710	3			326	27	14	494	5	24	2462	355
平成22年	出場件数	4204	9		1	324	30	45	540	8	46	2798	403
	搬送人員	4060	8			348	30	46	514	7	36	2679	392

(過去5年間の平均出場状況)

平均	出場件数	3998.2	4.6	0.4	0.6	329.4	30.2	24.6	506.2	11.8	43.6	2640.4	406.4
	搬送人員	3833.0	3.6	0.4	0.2	344.8	29.4	25.2	490.2	9.6	29.4	2511.8	388.4

現場到着所要時間別出場件数調

区 分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	142	450	1533	623	47	2795
交 通 事 故	4	37	169	93	21	324
一 般 負 傷	29	73	305	120	13	540
そ の 他	49	115	294	71	12	541
計	224 (5.3%)	675 (16.1%)	2301 (54.8%)	907 (21.6%)	93 (2.2%)	4200 (100%)

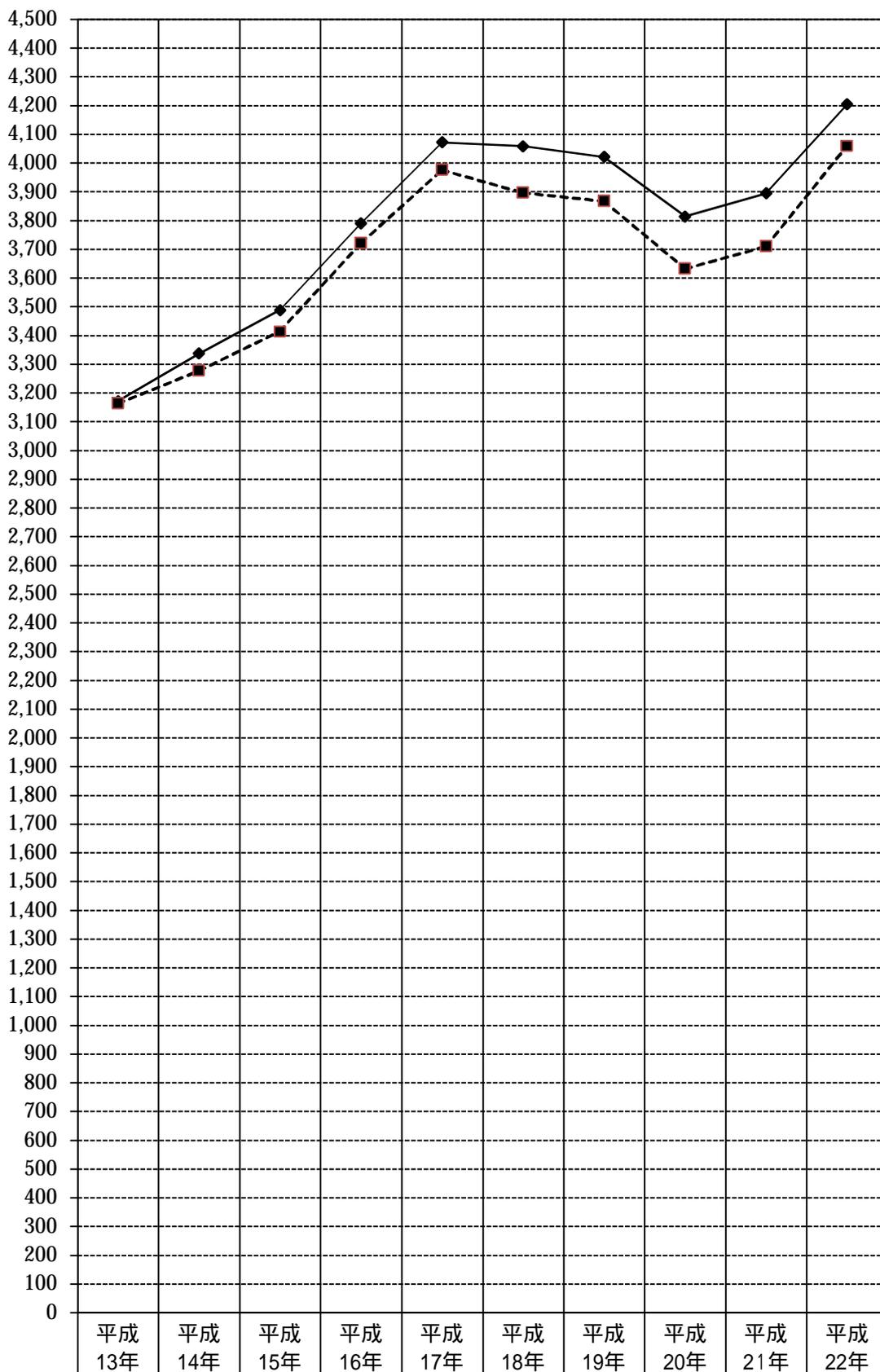
(注) 本表は、覚知から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載したものである。

収容時間別搬送人員数調

区 分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病		158	720	1661	138	2	2679
交 通 事 故		11	65	218	52	2	348
一 般 負 傷		18	122	333	41		514
そ の 他		22	156	322	16	3	519
計		209 (5.1%)	1063 (26.2%)	2534 (62.4%)	247 (6.1%)	7 (0.2%)	4060 (100%)

(注) 本表は、覚知から傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間区分ごとの搬送人員を記載したものである。

過去10年の救急出場件数



出場件数	3,171	3,337	3,488	3,790	4,072	4,058	4,021	3,814	3,894	4,204
搬送人員	3,163	3,277	3,414	3,721	3,976	3,896	3,867	3,632	3,710	4,060

市町別の救急出場率及び搬送割合の推移

区分 市町別		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
		(A)	(B)								
伊達市	旧伊達町	319.7	31.2	326.9	30.5	313.2	31.9	330.9	31.6	354.1	28.2
	旧梁川町										
	旧保原町										
	旧霊山町										
	旧月舘町										
桑折町		319.6	31.3	311.4	32.8	278.5	35.9	312.8	32.9	346.1	28.9
国見町		369.7	27	347.2	29.9	292.9	34.1	324.9	32.3	320	31.2
川俣町		377.1	26.5	390	26.9	337.9	29.6	368.6	28.7	396.3	25.2
福島市 飯野町		312	32.1	297.3	36.2	291.1	34.4	347.3	31.4	306.4	32.6
管内		342.1	29.7	349.7	30.3	313.6	31.8	338.7	31	357.8	27.9

(A) 救急出場率:人口1万人あたりの救急出場件数

(B) 住民搬送割合:何人に1人の人が、救急車により搬送されているかの割合

平成22年中、伊達消防本部管内においては、約27.9人に1人の割合で救急車で搬送されていることを表す。

署・分署別救急出場状況（前年比較）

区分		平成22年 (A)	平成21年 (B)	増減数 (C)=(A) - (B)	増減率(100%) (C) / (B) × 100
中央消防署	出場件数	1,015	910	105	11.5
	搬送人員	976	872	104	11.9
東分署	出場件数	595	555	40	7.2
	搬送人員	582	532	50	9.4
西分署	出場件数	1,099	1,041	58	5.6
	搬送人員	1,075	992	83	8.4
南分署	出場件数	851	807	44	5.5
	搬送人員	813	757	56	7.4
北分署	出場件数	644	581	63	10.8
	搬送人員	614	557	57	10.2
合計	出場件数	4,204	3,894	310	8.0
	搬送人員	4,060	3,710	350	9.4

救急隊が人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調

区分		事 故 種 別				
(対象者)		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
		117	4	16	8	145
内訳	脳疾患	2	2			4
	心疾患	66		1	1	68
	呼吸系	9	2	1	1	13
	その他	40		14	6	60
搬送時の 医師の診 断の結果	死亡	104	3	8	4	119
	重症	12	1	5	4	22
	中等症	1		3		4
	軽症					
					145	